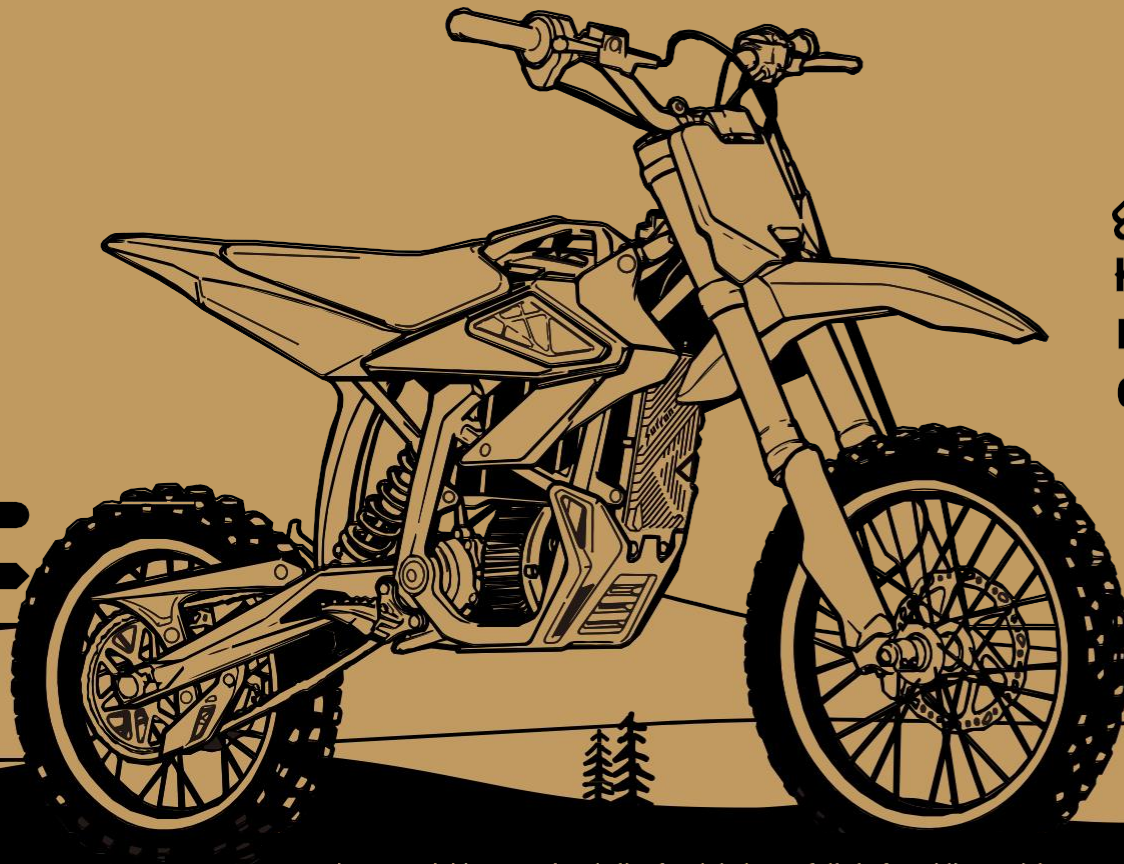




Scan the QR code for the
online Owner's Manual
www.sur-ron.com



幼蜂 HYPER BEE Electric Motorcycles Owner's Manual



Manufacturer: CHONGQING QIULONG TECHNOLOGY CO., LTD

Address: No.30 Xinkang Road, Dadukou District, Chongqing City, China

Post Code: 400082

Tel: +86-023-68905603

Version: Y026A-EN-V1.0

Issue Date: 2025.05.27

Please read this manual and all safety labels carefully before riding and do not use ride this electric motorcycles until you understand their characteristics how to operate it in a safe manner.
Please keep this manual properly retain this manual for future reference. This manual contains the most current product information available at the time of printing, your motorcycle may have slight differences in its look and setup differently from the information supplied in this owner's manual. For the latest function introduction and safety guidelines, please visit our website: www.sur-ron.com to view the latest revision of your Hyper Bee's owner's manual or go to the official online forum to communicate with other users.

本マニュアルは、以下の電動バイクを対象としています：HYPER

ハイパービー 14-12	ハイパービー 12-10
オフロードタイヤ 前輪 60/100-14 後輪 70/100-12	オフロードタイヤ 前輪 60/100-12 後輪 70/100-10

走行のコツ 最大走行距離について

ハイパービー電動バイクの走行距離は、ガソリンバイクと同様に変動します。この変動は主に以下の要因によるものです：

- 1) バッテリーの初期充電状態
- 2) 個々の運転習慣
- 3) 環境条件（極端な気温など）
- 4) 走行場所の特性（標高差、路面状態）最大航続距離を達成するためのポイント：

・急加速や急ブレーキを頻繁に行わないでください。

・回生ブレーキを有効にしてください。

・適正なタイヤ空気圧範囲を維持してください（1012ページの標準タイヤ空気圧表を参照）。

・不要な荷物を降ろしてください。

注：オフロード走行時の様々な過酷な路面状況により、走行距離は大きく変動します。

はじめに 1.1

重要なお知らせ.....1.1

輸送 1.3

安全な乗車 2.1

安全な情報 2.2

重要なラベルの位置 2.4

機能の紹介 3.1

表示およびインジケータ 4.1

ダッシュボード概要 4.1

ダッシュボードインジケータの紹介 4.3

機能設定 5.1

システム機能モード表示 5.1

ハンドルバー操作 6.1

ダッシュボードでの感度調整 6.3

ハイパービーへの乗車	7.3
ブレーキ操作	7.3
洗車	7.4
フロントフォークの修理.....	7.4
リアショックの調整.....	7.5

バッテリーパック.....	8.1
パワーシステム	8.6
メンテナンスアイテム.....	10.1
整備記録	10.1
定期メンテナンス	10.1
トルクマネジメント	10.3
バッテリーパック	10.9
ブレーキシステム.....	10.9
ブレーキフルードレベルチェック.....	10.9
ブレーキディスク点検	10.10
ブレーキパッドの交換	10.11
サスペンションシステム.....	10.11
ホイールとタイヤ.....	10.12

タイヤ空気圧.....	10.13
チェーン.....	10.13
チェーン調整.....	10.14
ヘッドライト交換.....	10.15
オートバイクリーニング.....	10.15
ホイールとタイヤの洗浄.....	10.16
長期保管.....	10.16
純正部品.....	10.17
ヒューズ.....	10.17
モーター減速ギアボックス.....	10.18
回路図.....	10.19
トラブルシューティング.....	11.1
システム警告メッセージ.....	11.3
トラブルシューティング.....	11.11

付録.....	13.1
メンテナンス記録シート.....	13.1
アフターサービス記録シート.....	13.7
諸元表	

重要なお知らせ

サーロンをご購入いただき、誠にありがとうございます。
ます。

サーロンのライダーコミュニティへようこそ。あなたは今、長く楽しみをもたらす最先端の電動バイクのオーナーとなりました。

本電動バイクは主にオフロード使用時の通常の負荷に耐えるよう設計・製造されており、公道走行が認可されているのは公道仕様車のみです。本車両は所定の用途でのみ使用してください。意図しない使用は、人・財産・環境への危険を招く可能性があります。

本マニュアルは、この電動バイクの操作方法、点検方法、基本的なメンテナンス要件、主な機能、役立つヒント、および重要な安全事項について理解を深めていただくために作成されています。オーナーズマニュアルを注意深くお読みいただき、バイクの運転時には慎重に行動し、ご質問がある場合はSurron正規販売店までお問い合わせください。最新のマニュアルおよびバイクに関する追加情報については、Surron公式ウェブサイトをご覧ください：

/// <https://sur-ron.jp/> ///

本マニュアルは個人使用のみを目的としており、商用利用は禁止されています。ウルトラビーの適切なメンテナンスを自己責任で行ってください。定期点検は必須であり、慣らし運転ガイドラインの遵守、および本マニュアルに記載されている乗車前点検やその他の定期点検の実施と同様に重要です。この取扱説明書は本車両の恒久的な付属品とみなされ、たとえ車両が後に売却された場合でも同梱されるべきです。一部の国・地域・州の法的規制に従い、次期所有者が確実に本マニュアルを受け取るようご注意ください。本書に記載されているすべての仕様は拘束力を持ちません。本マニュアルでは「警告！」という語句を用いて、自身や他者に危害を及ぼす可能性のある事項を示します。本マニュアルにおける「右」または「左」の表記は、ライダーがオートバイにまたがった状態での右側または左側を指します。

バイクの操作やメンテナンスに関するご質問、特別なサービスや修理が必要な場合は、お近くの正規サーロン販売店までお問い合わせください。

常に安全で素晴らしいライディングをお楽しみください。

-----警告-----

コントローラー、バッテリーパック、またはモーターに不具合が生じた場合は、直ちにサーロンの正規販売店に連絡し、診断、交換、またはメンテナンスを受けてください。

コンプライアンス責任者の明示的な承認を得ていない変更または改造は、ユーザーが機器を操作する権限を無効にする可能性があります。

【安全な乗車】

輸送中は電動バイクをラチェットストラップで輸送フレームに確実に固定することを強く推奨します。傷やその他の損傷を軽減するため、柔らかいストラップの使用も推奨されます。

図示のポイントに従ってラチェットストラップを固定することを推奨します。前方の2本はハンドルバーに、後方の2本は左右のスイングアームに固定してください。ストラップを固定する際、チェーンやブレーキラインを損傷しないよう注意してください。固定ストラップは電動バイクに対して45度の角度で配置してください。使用するラチェットストラップの取扱説明書に従ってください。

ハイパービーをトラックやオートバイトレーラーで輸送する場合、以下のガイドラインに従うことをお勧めします：

1. 積載用スロープを使用してください。
2. オートバイ固定用ストラップでオートバイを直立状態で固定してください。
3. ロープの使用は避けてください。緩む可能性があり、オートバイが倒れる恐れがあります。

ハイパービーを固定する際は、前輪をトラック荷台またはトレーラーのレール前部に押し当ててください。

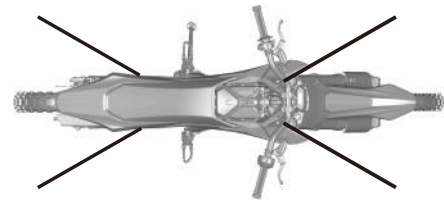
2本のストラップの下端を、トラック荷台またはトレーラーのレールにある固定フックに取り付けます。ストラップの上端をハンドルバー（右側と左側に1本ずつ）に、フォークに近い位置で取り付けます。

固定ストラップが操作ケーブルや電気配線に触れていないことを確認してください。

フロントサスペンションが約半分圧縮されるまで両方のストラップを締めます。過度な圧力は不要であり、フォークシールを損傷する可能性があります。

別の**固定用ストラップ**を使用して、**オートバイ**の後部が動かないように固定してください。

ハイパービーを横倒しにして運搬しないことをお勧めします。これによりオートバイが損傷する恐れがあります。



【安全な乗車】

ご自身の安全に責任を持ち、走行中に直面する可能性のある課題を理解すれば、電動バイクは長年にわたり役目を果たし、楽しみをもたらすでしょう。走行中の自己防衛策は数多く存在します。オフロードレースは、優れたバイクだけでは不十分な、身体的に過酷なスポーツであることを認識してください。好成績を収めるには、優れた身体能力と熟練したライディング技術が不可欠です。最高の結果を得るためには、体力づくりに熱心に取り組み、頻繁に練習を重ねてください。

ハイパービーは高性能電動バイクであり、細心の注意を払って扱う必要があります。

現地の法令・規制を遵守してください。ハイパービー電動バイクは公道での走行が禁止されています。タイヤは舗装路面での使用を想定しておらず、また当車両には方向指示器など公道走行に必要な装備が備わっておりません。舗装道路や公道を横断する必要がある場合は、別の認可**車両**で輸送するか、バイクから降りて目的地まで押して移動してください。

適切な安全装備（地域/国家認定のヘルメット、ゴーグル、ライディングブーツ、グローブ、保護服を含む）を着用し、**潜在的な負傷リスク**を低減してください。

オートバイ事故による負傷の大半が脚部・足部の衝撃によるものであるため、フルレングスのモトクロスブーツの使用を強く推奨します。

ハイパービー電動バイクを操作する前に、本マニュアルに記載されているすべての警告・指示および安全ラベルをよく読み、内容を十分に理解してください。

安全な操作方法を完全に理解していない人物に、ハイパービーを運転させてはいけません。

ハイパービー電動バイクを運転する前に、十分な運転技能を有することを確認してください。

ハイパービーを運転する前に、アルコールを摂取しないでください。

ハイパービー 電動バイクは責任を持って運転してください。危険で無謀な運転は、ご自身と周囲の安全に影響を与えます。

走行前には、7.1 ページの「走行前の確認事項」に記載されているすべての項目と、バッテリーの充電状態（Soc）のパーセンテージを確認してください。

ハイパービー電動バイクの安全性は、その良好な状態に依存します。故障は困難を伴う可能性があり、特にオフロードで基地から遠く離れた場所で立ち往生した場合に深刻です。問題を回避するため、各使用前にライダーは本マニュアルのメンテナンスセクションに記載されている定期的なメンテナンスおよび調整要件の全てに準拠しているか、全てを確認しなければなりません。**乗車前に徹底的に点検すべき全ての項目の重要性を理解してください。**これらは安全性に影響を及ぼす可能性があります。

ハイパービーを安全な状態に保ってください。サーロン社認定部品およびサーロン純正アクセサリーのみを使用してください。

ハイパービーの適切なメンテナンスは安全上極めて重要です。例えばボルトの緩みは故障を引き起こし、重大な負傷の原因となる可能性があります。車両は完全な技術的狀態にある場合のみ、本来の用途に従い、安全かつ環境に配慮した方法で運転してください。

本車両は高電圧電動バイクです。電動モーター使用時に適用される安全・注意事項を遵守してください。リチウムイオン（Li-ion）バッテリーまたはコントローラーから異臭を感じた場合は、ハイパービーを屋外の安全な場所（可燃物から離れた場所）に駐車し、キースイッチをオフにしてください。直ちに認定Surronディーラーに連絡し、ハイパービーの点検を依頼してください。

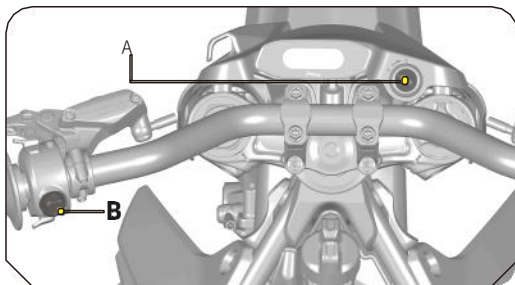
リアブレーキレバーはハンドルバーの左側に配置されています。この電動バイクにはマニュアルトランスミッションが搭載されていないため、クラッチやギアシフト操作は存在しません。

ハイパービーの改造は安全性を損ない、自身や他者に重大な傷害をもたらす可能性があります。サーロン社は、いかなる無許可の改造についても責任を負いません。

ハイパービー電動バイクに重い物や大型の物、追加アクセサリーを横載しないでください。大型でかさばる物品は、ハイパービー電動バイクの安全性と性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

車両情報

重要な操作上の注意事項は以下をご確認ください：



走行していない時は、必ずキースイッチ (A) をOFFの位置に回し、磁気式カットオフスイッチ (B) を外してください。バイクが完全に静かであるため、まだレディモードにあることを忘れがちです。電源を入れたままバイクを放置し、誤ってスロットルを回すと事故が発生する恐れがあります。

オートバイを押したり移動させたりする際は、磁気式カットオフスイッチを外し、READYインジケーターが消灯していることを確認してください。

傾斜路や急勾配で停止中はブレーキを使用してください。傾斜路や急勾配でバイクを静止させるためにスロットルを部分的に開けたままにしないでください。ロックローター保護機能が作動し、モーターへの電力供給が遮断され、バイクが予期せず動き出す可能性があります。

本車両には充電式リチウムイオンバッテリーが搭載されています。バッテリーパックはシート前方に配置されています。電動バイクの使用後は毎回バッテリーパックを充電してください。充電が完了したら、AC電源から切り離してください。充電は安全で開放された場所、または監視下で実施してください。

キーをOFFの位置にした状態でバッテリーの電源プラグを抜くと、電動バイクの電子部品が少量の電力を消費し、バッテリーパックの電力が非常にゆっくりと消耗します。長期間（30日以上）乗らない場合は、電動バイクのバッテリーを充電する必要があります。

-----警告-----

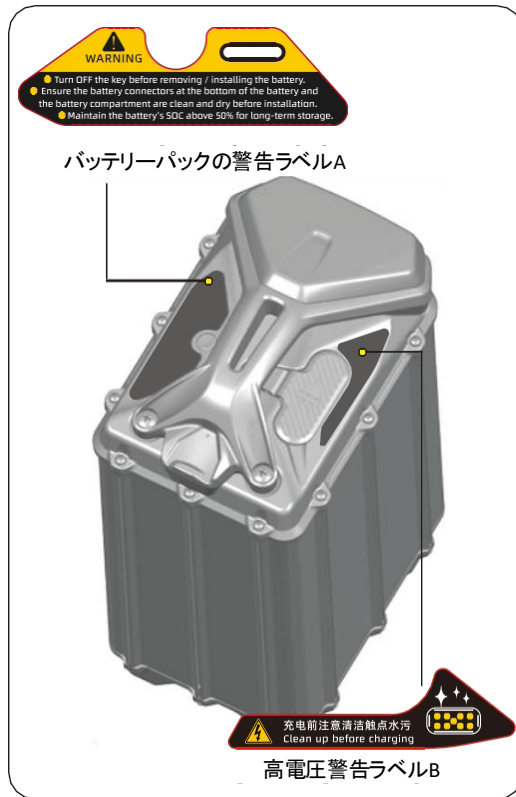
ハイパービーリチウムイオンバッテリーパックはサーロン認定充電器でのみ充電してください。バッテリーパックはオートバイ内部に設置されている状態でのみ使用してください次の走行の数時間前に充電してください。低電力状態で長時間保管するとバッテリーパックが損傷します。

バッテリーパックの完全放電は不要で、またそのメリットもありません。バッテリーパックの寿命を最大限に延ばすには、毎回の走行後に充電してください。バッテリーパックを過放電状態のまま放置すると、バッテリーセルが損傷します。

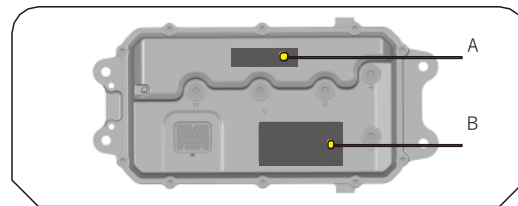
本マニュアルに記載されたバッテリーパックの保管および充電に関する指示に従わない場合、ハイパービーの保証が無効になる可能性があります。これらのガイドラインは、バッテリーパックの効率と寿命を最大限に確保するため、厳密にテストされています。

注意：バッテリーパックには環境に有害な可能性のある部品や物質が含まれています。適用される規制に従い、バッテリーパックを適切に廃棄してください。絶対に家庭ごみとして廃棄しないでください。

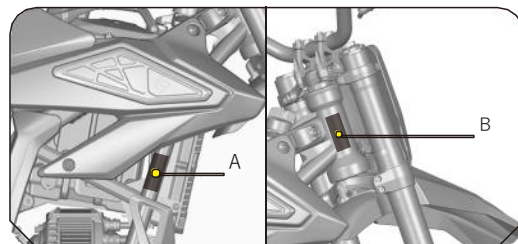
重要なラベルの位置



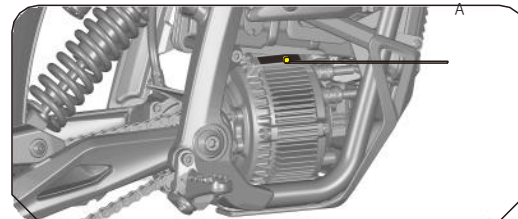
MCU推奨トルクラベル A MCU情報ラベル B



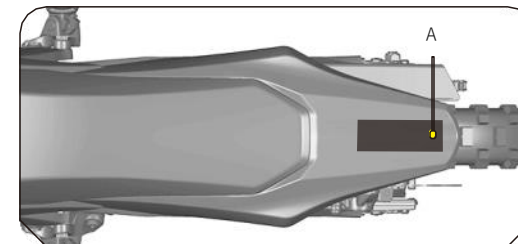
フレーム銘板 A、VIN B



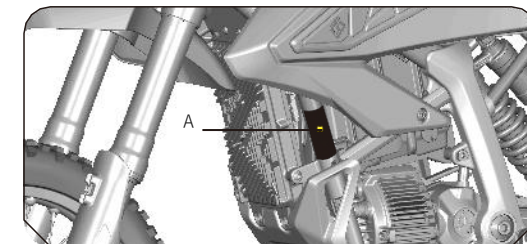
モーターシリアル番号 A



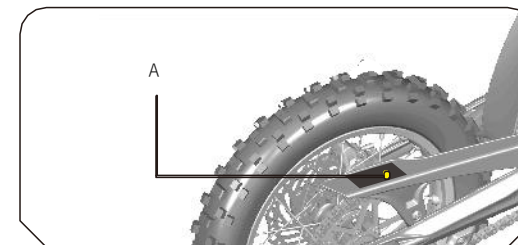
乗車警告ラベル A



FCCラベル A

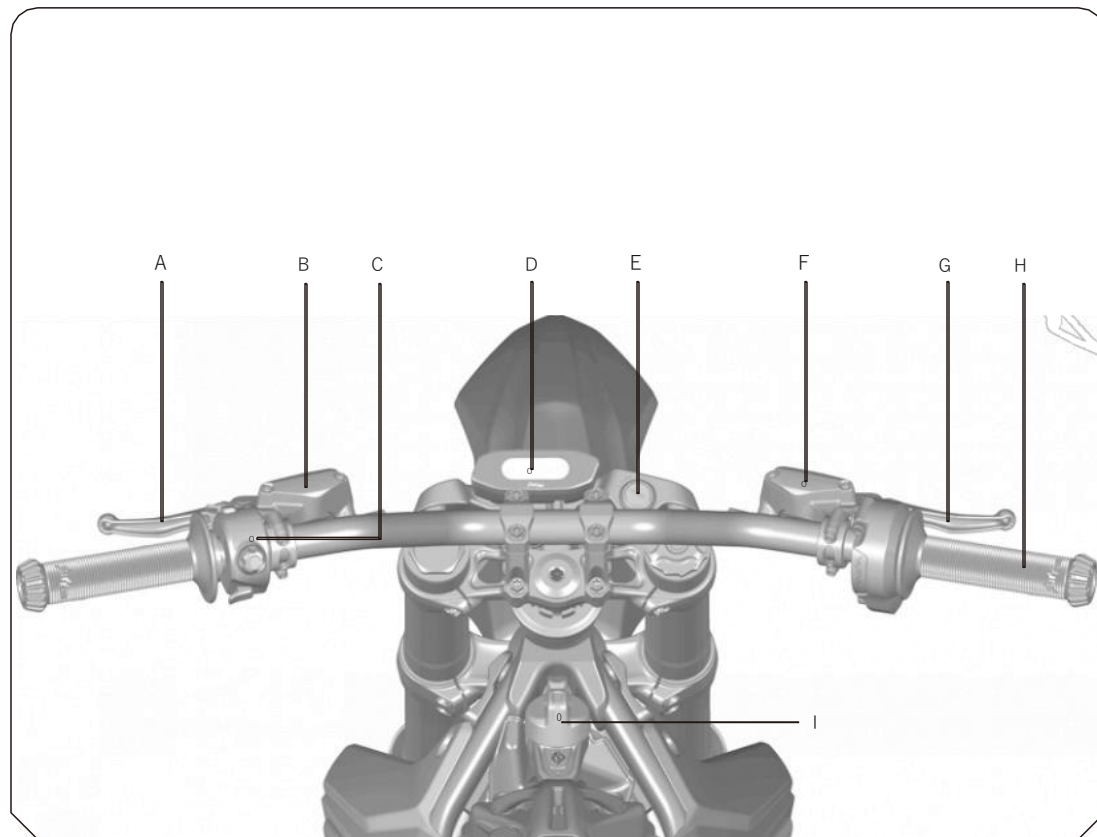


タイヤとチェーンのラベルA



VINラベル





A. リアブレーキレバー

操作方法については、61 ページの「機能紹介」をご覧ください。

B. リアブレーキフルードリザーバー

操作方法については、105ページの「メンテナンス」を参照してください。

C. 左コンボスイッチ

操作方法については、61 ページの「機能紹介」をご覧ください。

D. ダッシュボード

詳細な説明と操作については、41ページの「表示インジケータ」および51ページの「機能設定」を参照してください。

E. キースイッチ

説明および操作については、72ページの「始動と起動」を参照してください。

F. フロントブレーキフルードリザーバー

説明および操作については、105 ページの「メンテナンス」を参照してください。

G. フロントブレーキレバー

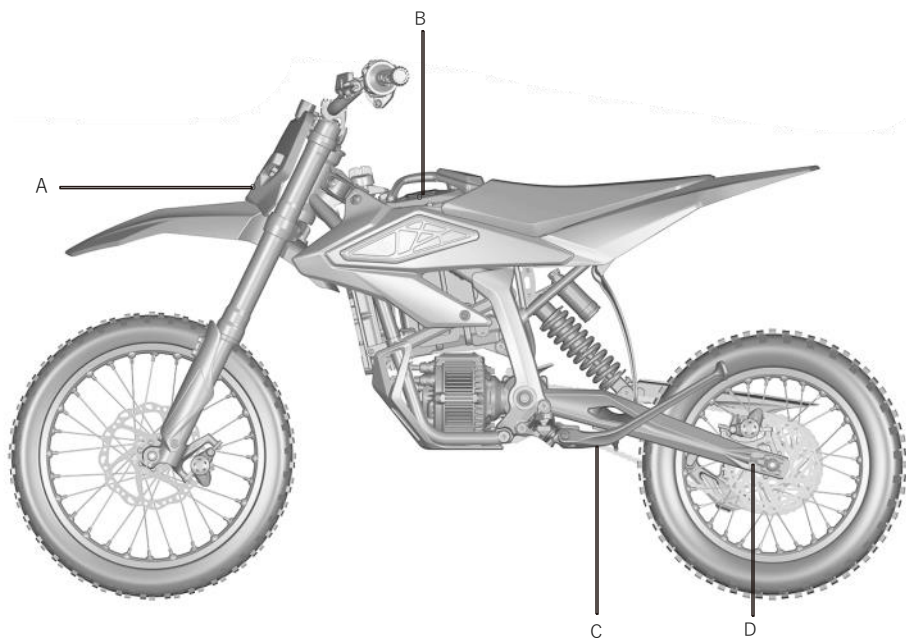
説明および操作については、63 ページの「特徴紹介」を参照してください。

H. スロットルコントロール

説明および操作については、63 ページの「機能紹介」を参照してください。

I. バッテリーバックロックノブスイッチ

回転ノブスイッチとロックブロックによりバッテリーバックをロックおよび解除する機構。説明および操作については、6.3 ページの「機能紹介」を参照してください。



A. ヘッドライト

ヘッドライトの操作については、6.1ページの「機能紹介」を参照してください。

ヘッドライトの交換については、10.12ページの「メンテナンス」を参照してください。

B. 磁気バッテリー充電ポート

仕様および操作については、8.1ページの「電源管理」を参照してください。

C. サイドスタンド

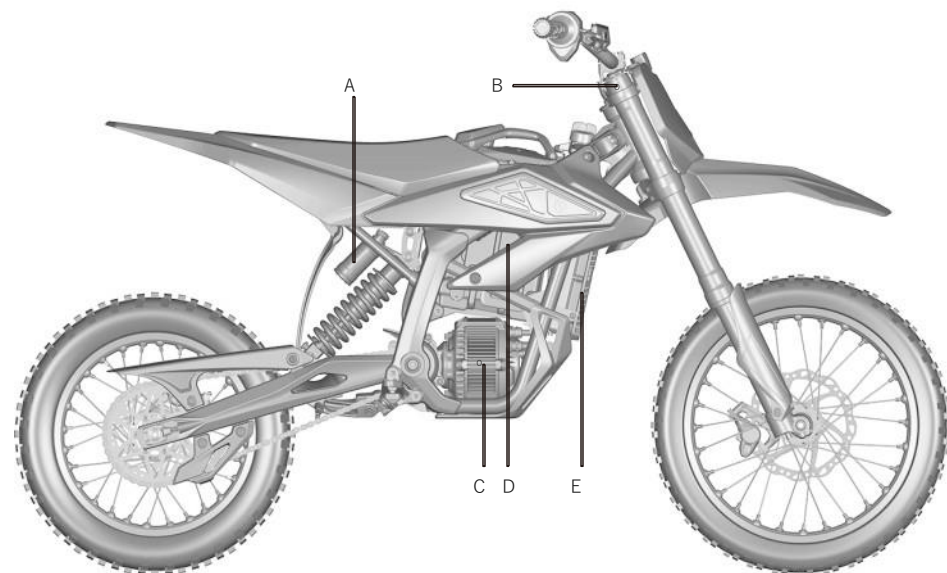
この機能は、車両を支えるために使用されます。

-----注意-----
車両は平坦で硬い地面に駐車してください。オートバイが倒れて損傷する恐れがあります。

ハイパービー電動バイクの駐車について。駐車時はキースイッチをOFFの位置にしてください

D. チェーンアジャスター

スイングアームの左右に配置されています。張力調整手順については、10.9ページの「メンテナンス」を参照してください。



A. リアショックアブソーバー

説明および操作については、7.8 ページの「始動および操作」を参照してください。

B. フロントフォーク

説明および操作については、7.7 ページの「始動および操作」を参照してください。

C. MCU

説明および操作については、9.1 ページの「電源システム管理」を参照してください。

D. バッテリーパック

説明と操作については、8.1ページの「電源管理」を参照してください。

E. モーター

仕様および操作については、9.1 ページの「電源システム管理」を参照してください。

ディスプレイボードの機能



A. 電源モード

この領域には、レベル1、レベル2、レベル3のパワーモードに対応するパワーモードが表示されます。パワーモードは左側のコンビネーションスイッチのボタン組み合わせを使用して設定できます。説明と操作については、6.4ページの「機能紹介」を参照してください。

B. スピードメーター

速度計はキロメートル毎時 (km/h) またはマイル毎時 (mph) で表示されます。説明と操作については、5.1ページの「機能設定」を参照してください。

C. 警告コード表示

システム障害が検出されると、対応する警告コードがこの領域に表示されます。警告コードの説明については、J1.4ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

D. 充電インジケーター

このインジケーターは、バッテリーパックの充電状態 (Safety Of Charge) を表示します。これは、ガソリンモーターサイクルのフューゲルゲージに似ています。

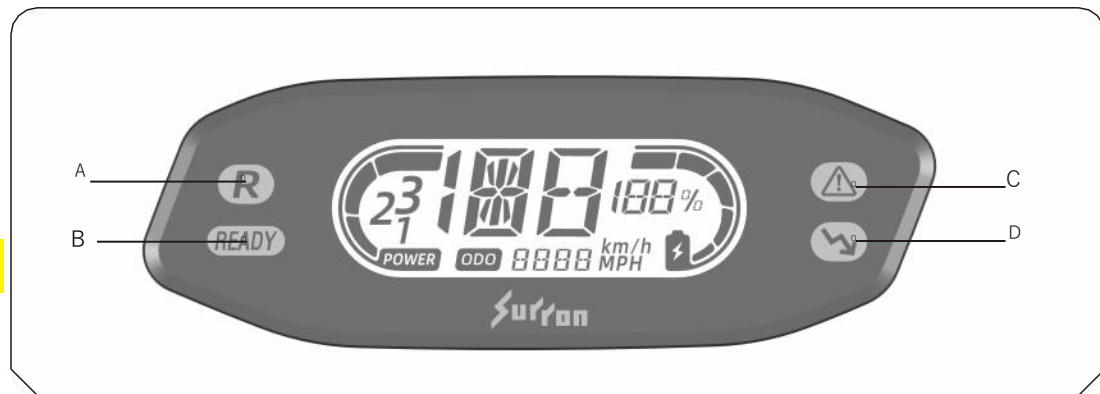
E. 走行距離計

走行距離計は、走行距離をキロメートルまたはマイルで表示します。詳細については、5.1ページを参照してください。

ディスプレイとインジケーター



4.3



A. リバースモードインジケーター*



逆モードが使用可能な状態になるとインジケーターが点灯します。逆モードが使用中はインジケーターが点滅し、逆モードがOFFになるとインジケーターは消灯します。
モード使用中は点滅し、リバースモードOFF時には消灯します。

B. READYインジケーター



このインジケーターが点灯している場合、オートバイは走行準備が整っています。

C. システム警告インジケーター



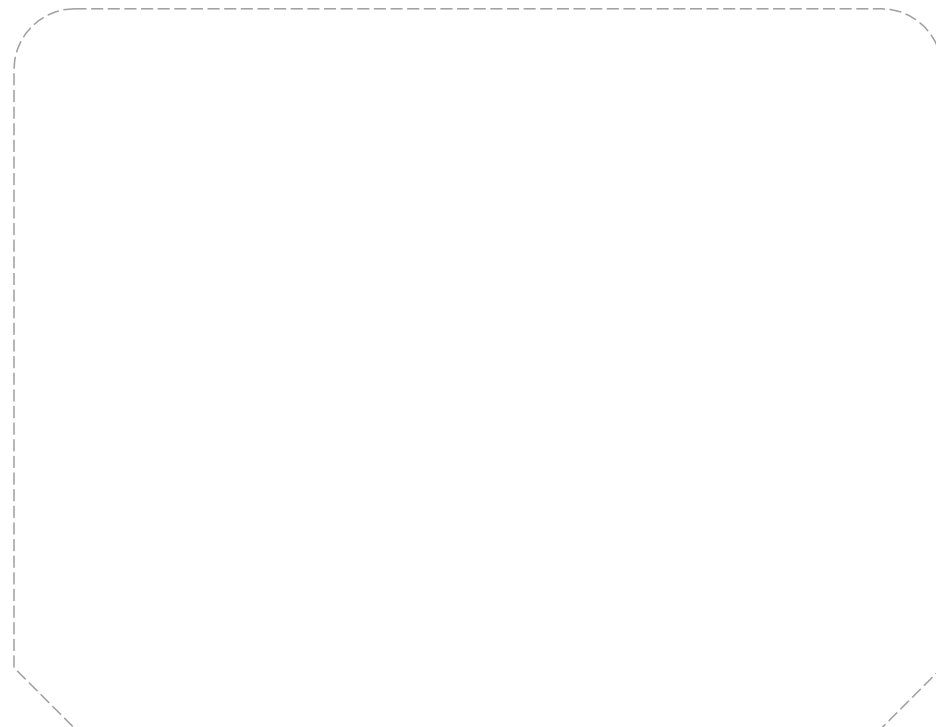
故障が検出されるとインジケーターが点灯します。詳細な警告コードについては、J14 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。

D. 低電力インジケーター

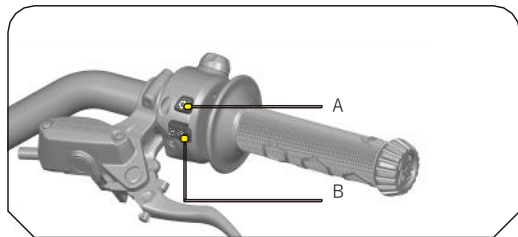


パワーコンディションを示しています。システムが低電力モードに入ると、電源システムの状態を示すランプが点滅し続けます。

4.4



機能設定



5.1

ハンドルバーコントロールのAボタンとBボタンを使用することで、ダッシュボードのパフォーマンス機能と表示を個人の好みに合わせてカスタマイズできます。

A. SETボタン

SET ボタンを使用すると、機能設定メニューを切り替え、関連する車両機能を表示できます。

B. READYボタン

機能メニューに入ったら、READY ボタンを使用して車両の機能を選択します。



速度と走行距離計の単位表示

キロメートルとマイルの切り替えについては、システム機能設定を参照してください。

マイル毎時(mph)が選択されている場合はMPHが表示されます。キロ毎時(km/h)が選択されている場合はkm/hが表示されます。

注：フィールドAに1文字を表示（異なる機能モードに応じて異なる文字が表示されます）。表示



フィールドBに数字1つを表示（選択された機能内の異なるオプションに応じて異なる数字が表示されます）。

システム機能モード設定:

車両が停止状態で、電源が入っており、READY状態に設定されていない場合、SETボタンとREADYボタンを2秒以上同時に長押しするとシステム機能モードに入ります。

システム機能モードに入ったら、SETボタンを短押ししてE2、CI、FIなどの車両機能を切り替えます。車両機能が一時停止している場合（例：E2時）、READYボタンを短押ししてレベルをE3、E0、E1などと順に調整し、目的のレベルに達するまで繰り返します。

E2で停止している場合、READYボタンを短押しするとレベルをE3、E0、E1の順に切り替え、目的のレベルに達するまで調整できます。

10秒間操作がない場合、自動的に終了し、設定変更は保存されます。

利用可能な機能は以下の通りです：

①エネルギー**再生 (REGEN)** レベル設定 (E0 E1 E2 E3 E4 E5)

工場出荷時設定はE2（E0では機能無効、E1からE5へ段階的に強化）

②スロットル**感度設定** (F1 F2 F3)

工場出荷時設定はF1（F1からF3へ感度が順次増加）

③ホーン音設定（G1-Gn）

工場出荷時設定はG1（G1-Gn は異なるサウンドエフェクト）

④傾斜保護機能設定 (C0 C1)

工場出荷時のデフォルトはCI（C0では機能が無効、CIで有効）

⑤ハイパービー リモートベアリングモード (T0 T1)

工場出荷時設定はTO（TOはベアリングモードOFF、TIはベアリングモードON）

⑥Bluetoothヘッドセットベアリングモード (I0 I1)

工場出荷時設定はI0（I0はBluetoothヘッドセットベアリングモードOFF、I1はベアリングモードON）

⑦速度単位設定 (M1 M2)

工場出荷時設定はM0（M1はkm/h、M2はMPH）

システム機能モード設定終了方法：

1システム機能モード設定を終了するにはSETボタンとREADYボタンを2秒以上押す必要があります。

2機能の選択および調整時、約10秒間操作がない場合、システムは自動的にシステム機能モード設定を終了し、行った変更を保存します

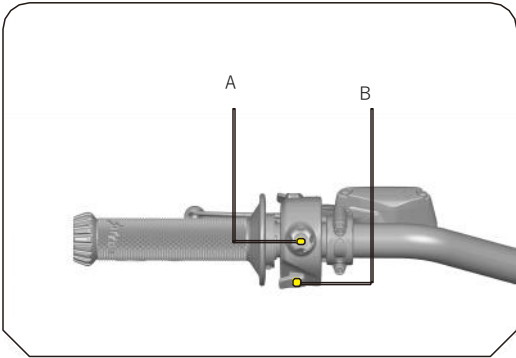
5.2

-----注記-----

システム機能モード設定中は、車両を走行できません。走行可能にするには、システム機能モード設定を終了し、READYボタンを押す必要があります。

ジャンプやスタントを行う際にティットセンサーが作動し、予期せぬパワーロスを引き起こす可能性があることにご注意ください。バッテリーバックの寿命と安全性を延長するため、バッテリーの充電状態（Soc）が95%を超えた場合、またはバッテリー内部の温度が-8°Cから50°Cの範囲外になった場合、エネルギー再生機能は無効になります。警告コード表示エリアにアラームAL-128が表示されます。

ハイパービー操作

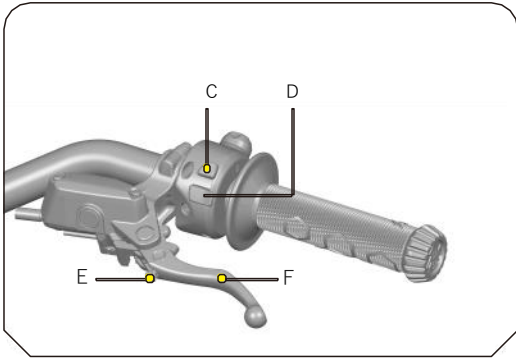


A. 磁気遮断スイッチ

車両がREADY状態のとき、磁気遮断スイッチを取り外すと車両の電源出力が遮断されます。

B. ホーンボタン

ホーンは、周囲の車両や周囲にいる人々に警告するために使用できます。



C. SET ボタン

このボタンは、システム機能の設定やダッシュボードメニューの表示切り替えに使用します。

D. READY ボタン

このボタンは3つの操作機能を備えたボタンです。

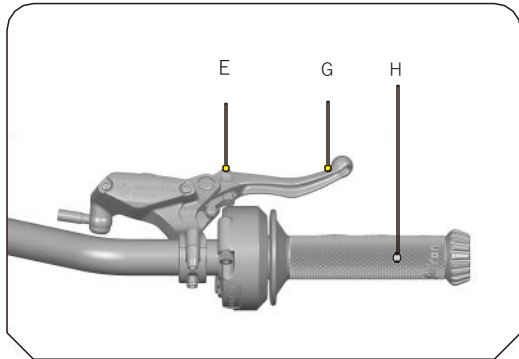
READY MODE（準備モード）：ハイパービーの電源ON後、ボタンを押すと走行可能状態になります。

REVERSE MODE:

スロットルが完全に閉じられた状態で、バイクが停止しているときにREADYボタンを長押しすると、ダッシュボードの逆走インジケーターRが点灯します。スロットルを回すと、ハイパービーは後退します。READYボタンを離し、スロットルを完全に閉じ、バイクが停止したときのみ、バイクは逆走モードを終了し、通常の走行方向に戻ります。

注記：リバースモードの入退出時には、注意喚起のため車両がわずかに振動します。

機能選択: システム機能モードに入ると、READYボタンを使用して各機能内のオプションを選択できます。詳細は5.1ページを参照してください。



E. ブレーキレバーアジャスター

調整ノブは、ライダーの好みに合わせてブレーキレバーの位置を調整するために使用します。

-----注記-----
ハイパービーにはブレーキオーバーライド機能が装備されていません。怪我を防ぐため、ブレーキを慎重にご使用ください

F. リアブレーキレバー

ブレーキレバーを握ると、リアブレーキシステムが段階的に作動します。ブレーキ操作時はスロットルをアイドル位置に保ってください。

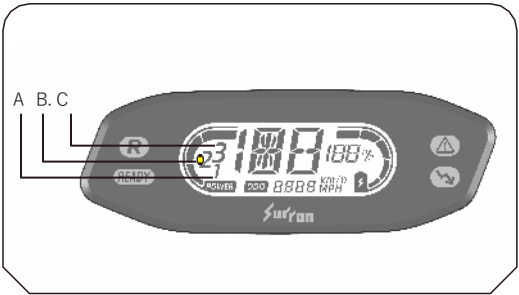
G. フロントブレーキレバー

ブレーキレバーを握ると、フロントブレーキシステムが段階的に作動します。ブレーキをかける際は、スロットルをアイドル位置に保ってください。

H. スロットル操作

オートバイが準備状態にあるとき、スロットルを反時計回りに回すとエンジンが始動し、オートバイが前進方向に加速します。スロットルを離すと、スロットルはアイドル位置にスナップバックし、エンジンの動力供給が停止します。これにより磁気遮断スイッチが解除され、オートバイが減速します。

オフロードモード概要



パワーモード概要

パワーモードにはレベル1、レベル2、レベル3があり、ダッシュボードに該当する数字が表示されます。

走行中の安全確保のため、走行中に車両のパワーモードを切り替えることはできません。

A. レベル1

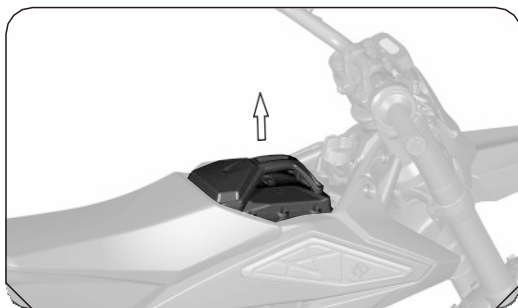
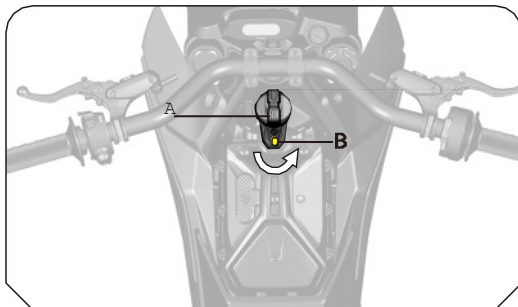
このモードでは、車両のパワーと加速はソフトで穏やかになり、車両操作に慣れていないユーザーや、パワー供給を最大限に制御しながら長時間ゆっくり走行する場合に適しています。

B. レベル2

このモードでは、車両のパワーと加速はレベル1よりも強くなります。このモードは、パワーレベル1に慣れ、オートバイの機能に慣れているライダーに適しています。

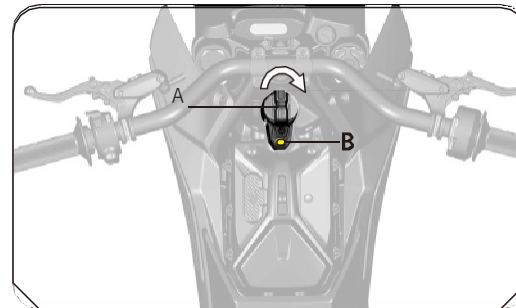
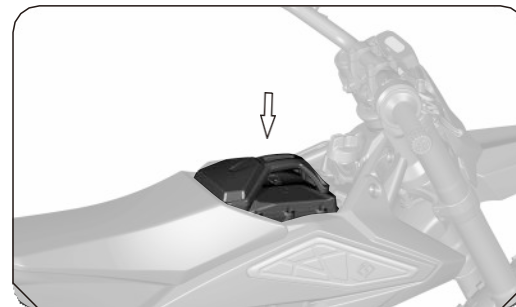
C. レベル3

このモードでは、車両は最大の出力を発揮し、ダートトラックやトレイルライドなどのオフロード路面での使用に適しています。ユーザーは、モーターサイクルの機能を十分に理解した上でこのモードを使用することを推奨します。



-----警告-----

バッテリーパックをオートバイから取り外す、または取り付ける前に、車両の電源がオフになっていることを確認するため、キースイッチがオフの位置にあることを必ず確認してください



バッテリーパックの取り外し

1. キースイッチをオフにする
2. バッテリー固定アームBを半時計回りに回し、完全に右端の位置まで移動させてください。
3. バッテリーパックを矢印の方向に沿って上方向に引き抜いてください

-----注記-----

バッテリーパックを取り付ける際は、バッテリー固定アームが右側に位置し、バッテリーパックの取り付けを妨げないことを確認してください。バッテリーパックを取り付ける前に、バッテリートレイと放電ソケット内に異物や水がないか確認してください。もしあれば、バッテリーパックを取り付ける前に完全に清掃してください。そうしないと、バッテリーパックの取り付け不良や放電ソケットでの接触不良を引き起こし、オートバイの損傷につながる可能性があります。

バッテリーパックの取り付け

- 1.バッテリー固定アームが完全に右端の位置にあることを確認してください
- 2.バッテリーパックをバッテリーコンパートメントに設置してください。
- 3.締め付けノブAを時計回りに回転させ、バッテリー固定アームBをバッテリー上部に位置させ、ノブを締めてバッテリーパックを固定します。バッテリーが緩んでいると走行中に車両損傷や人身事故を引き起こす可能性があるため、バッテリーが確実に固定されていることを再確認してください。

走行前の点検

電動バイクを操作する前に、以下の項目を確認し、ハイパービーが安全に操作できる状態であることをご確認ください

バッテリーパック

バッテリーパックまたはダッシュボードに表示されるバッテリー残量が、予定走行距離に十分であることを確認してください。走行距離は個人の運転スタイル、環境条件、走行地形によって影響を受けるため、バッテリー充電表示は参考値です。走行前にはフル充電することを推奨します。

チェーン

チェーンの張り状態を確認してください。必要に応じて調整または交換してください。10.9 ページの「チェーン」を参照してください。ブレーキシステム

ブレーキ

ブレーキレバーを左右別々に握り、毎回バイクを押して前輪と後輪が完全にロックされることを確認してください。

スロットル

キースイッチがオフの位置にある状態で、スロットルをひねって離し、スロットルがスムーズに回転し、自由にアイドル位置に戻るかどうかを確認してください。

タイヤ

タイヤの空気圧とトレッド深さを点検してください。

冷間時のタイヤ空気圧を確認し、推奨空気圧範囲を維持するために必要に応じて調整してください。

タイヤの損傷、異常摩耗、およびトレッド深さを点検してください。最低限のトレッド深さが満たされていない場合は、直ちにタイヤを交換してください。

10.9 ページに記載されている基準に達していることを確認してください。

-----警告-----

タイヤ空気圧の不適切さは、タイヤ損傷や制御不能の一般的な原因であり、重大な**人身事故**を引き起こす可能性があります。良好なタイヤ状態を保つため、定期的にタイヤを点検してください

ONポジション

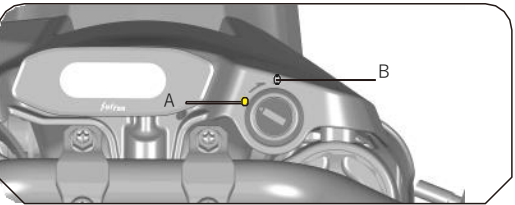
この位置はハイパービー電動バイクの電源を入れるためのものです。**スイッチ**をこの位置に回すと以下の変化が生じます：

ダッシュボード ON

ヘッドライト ON。

キースイッチの操作:

1. キーをキースイッチに挿入し、時計回りに回してキーをOFF位置からON位置に切り替えると、ハイパービー電動バイクが起動します。
2. ハイパービーを停止する時、キーを反時計回りに回してON位置からOFF位置に切り替えてください。



電気システム

ヘッドライト、ダッシュボード、およびコンビネーション**スイッチ**が正常に作動するか確認してください。

キースイッチ

ダッシュボード右側に位置する2ポジションスイッチです。機能は以下の通り：

OFF A

ON B

OFF 位置

この位置は、ハイパービー電動バイクの電源を切るためのものです。この位置からキーを抜くこともできます。

ハイパービーの表示

始動

キースイッチをOFFの位置からONの位置に回します。

バッテリーの表示されているSocパーセンテージが、計画した走行に適していることを確認してください。

磁気遮断装置の磁気キャップを再装着してください

7.3

警告

ブレーキレバーを急に強く握ると、車輪がロックする可能性があります。これによりハイパービー電動バイクの制御を失い、重傷や死亡につながる恐れがあります。ブレーキレバーに徐々に力を加えることで、車輪をロックさせずに電動バイクを停止させることができます。ハイパービー電動バイクは強力な車両ですので、安全な緊急停止操作を練習し、十分に慣れることを強く推奨します。

周囲に障害物や通行車両がないことを確認後、サイドスタンドを上げ、左コンボのREADYボタンを押してREADYモードに入ります（ダッシュボードのREADYインジケーターが点灯します）。その後、スロットルを回して速度を上げ、走行を開始してください。

注記

走行後は毎回、バッテリー残量を確認し、必要に応じてバッテリーパックを充電してください

ブレーキ操作

右ブレーキレバーを引くと、フロントブレーキが作動します。

左ブレーキレバーを引くと、リアブレーキが作動します。

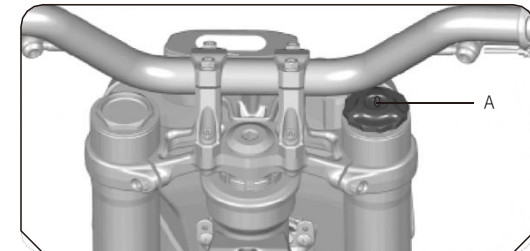
走行

スロットルをアイドル位置にリセットし、磁気カットオフスイッチから磁気キャップを取り外します。

サイドスタンドを下ろして、バイクが倒れないようにしてください。

キースイッチをOFFの位置に回し、キーを抜いて安全な場所に保管してください。

フロントフォーク調整



7.4

リバウンド減衰量

調整ノブAを時計回りに「+」方向に回すと、リバウンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブAを「-」方向に反時計回りに回すと、リバウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなります。

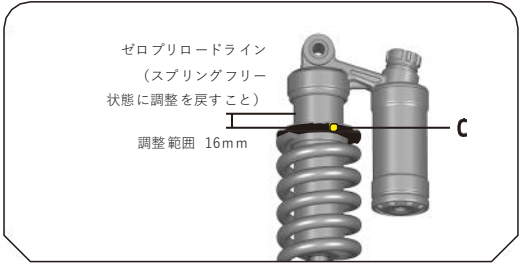
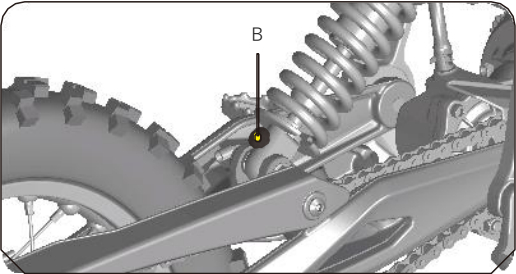
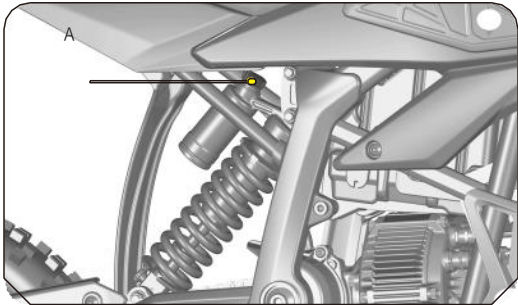
注記

フロントフォークの外観は、お使いのハイパービーに付属するプランによって異なる場合があります。実際の製品をご確認ください。

リバウンドダンピングは、路面状況やライダーの体重に応じて調整してください。ダンピングを最大値まで調整することは避けてください。

フロントフォークの故障を引き起こし、事故や重傷の原因となる可能性があります。

リバウンド調整



リバウンドダンピング

リバウンド調整ノブ B は、リアショックアブソーバーの下側にあります。

調整ノブBを時計回りに「+」方向に回すと、リバウンド減衰が増加し、リバウンド速度が遅くなります。

調整ノブBを反時計回りに「-」方向に回すと、リバウンド減衰力が弱まり、リバウンド速度が速くなります。

リアショックのプリロード

1. 調整レンチで調整リング C を回します。
2. 調整リング C を反時計回りに回すと

スプリングプリロードの減衰

プリロード調整リングCを時計回りに回すと、スプリングプリロードが増加します。

-----注記-----

減衰力とプリロードは、路面状況やライダーの体重に応じて調整してください。減衰力を常に最大値に設定することは避けてください。そうしないと、ショックアブソーバーが故障したり、致命的な怪我や重傷を引き起こす恐れがあります。

-----注記-----

プリロードを16mm以上調整することは推奨されません。過度なプリロードはリアショックの有効ストロークに影響を与えます
フロントフォークの外観は、ハイパービーに付属するブランドによって異なる場合があります。実際の製品をご確認ください

バッテリーパック

バッテリーパックは0° C以下での充電は行わないでください。バッテリーパックが損傷する恐れがあります。バッテリーパックの温度が0° C以上に上昇するまで待ってから、再度充電してください。

バッテリーパック内部の最高許容充電温度は55° Cです。バッテリーパック内部の温度がこの温度を超えた場合、冷却されて55° C未満になるまで充電は行えません。激しい運転によりバッテリーパックは急速に温度が上昇する可能性があり、周囲温度が低くても内部温度が上昇する恐れがありますが、これを越える場合、冷却されて55° Cを下回ってからでないと充電は行えません。

激しい運転によりバッテリーパックは急速に発熱する可能性があり、周囲温度が低くても内部温度が55° Cを超える場合があります。

ハイバービー電動バイクは高性能リチウムイオンバッテリーを採用しており、周囲温度-20° C (-4° F) から45° C (113° F) の範囲で走行可能です。最適な性能を発揮するには、周囲温度10° C (50° F) から30° C (86° F) での使用を推奨します。極端な低温または高温はバッテリーパックの性能と寿命に影響を与えます。許容範囲外の温度での使用は避け、0° C(32° F)未満での充電は行わないでください。バッテリーパックの充電時間は、25° C(77° F)の環境下で0%から100%の充電状態(Soc)まで約4〜5時間です。

周囲温度が低すぎると、バッテリーパックの性能に影響が出ます。走行距離が若干減少するのは正常であり、温度が最適な温度範囲に戻るとバッテリーパックの性能は自動的に回復します。長期間使用しない場合は、バッテリーレベルを60〜80%のSoc（充電状態）に充電し、毎月残量を点検してください。バッテリーレベルが30%を下回った場合はバッテリーパックを充電し、バッテリーパックの過放電を防止してください。

バッテリーパックの洗浄に高圧洗浄機を使用すること、または300mmを超える水深にバッテリーパックを浸漬して洗浄することは厳禁です。前輪・後輪の車軸中心線より深い水域での走行は避けてください。バッテリーパックへの浸水は内部短絡の危険性を生じ、バッテリーパックの永久的な故障を引き

起こします。万一水没走行した場合、直ちに車両の状態を再確認してください。海水やその他の腐食性液体中での電動バイクの走行は厳禁です。バッテリーパックへの浸水や損傷が疑われる場合、充電や使用は絶対に禁止します。バッテリーパックの発火や爆発を引き起こす恐れがあります。

バッテリーパックは防水設計となっており、高電圧部品は筐体内部に配置されています。外装の損傷はバッテリーパックの防水性能を低下させます。防水構造が損傷した場合は、Surrön販売店またはSurrönアフターサービスまでご連絡ください。人身事故、火災、爆発の危険を避けるため、ユーザーによるバッテリーパックの分解は厳禁です。

寒冷時の使用条件

寒冷地でのハイバービーの走行は、バッテリーパックに永続的な影響を与えません。ただし、低温がバッテリーパックから放出可能なエネルギー量に及ぼす影響により、走行距離と出力の低下が生じる可能性があります。

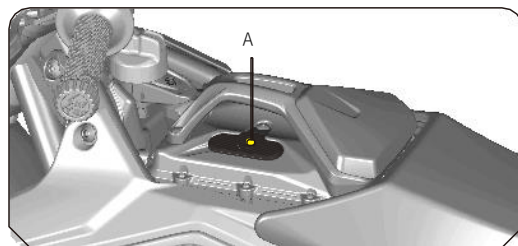
したがって、0° C(32° F)未満の環境下では、25° C(77° F)の環境と比較して、ハイバービーの航続距離が一時的に減少する可能性があります。極寒の天候では、ハイバービー電動バイクは一時的に出力が低下し、最高速度に達しない場合があります。-20° C (-4° F) 以下の温度で保管すると、バッテリーパックの性能が永久的に低下する可能性があります。

-----注記-----

ハイバービー電動バイクまたはそのバッテリーパックを、周囲温度が41° C(105.8° F)を超える環境で長時間直射日光にさらさないでください。これによりバッテリー性能の劣化が加速する恐れがあります。

1. バッテリーパックはリチウムシステムであり、メンテナンスは不要ですが、不定期な充電が必要です。長期間使用しない場合は、バッテリーのSocレベルを60〜80%に充電し、毎月残量を点検してください。バッテリーレベルが30%未満になった場合はバッテリーパックを充電し、過放電を防止してください。

2. バッテリーパックは過熱環境から遠ざけて保管してください。高温条件下での保管や直射日光への当たる場所での保管は避けてください



バッテリーパックを長期保管ガイドライン（10.15 ページの「車両の長期保管」を参照）内の環境で保管することで、冬季保管中にバッテリーパックが永久的に損傷するのを防ぎます。

高温時の使用条件

高温環境下でのハイパービーの使用は、性能に顕著な変化をもたらしません。

ただし、バッテリーパック温度が70° C (158° F) を超える場合（バッテリー温度センサーに基づく）、バッテリー管理システムはバッテリーパックへの潜在的な損傷を防ぐため、バッテリーパックの出力を停止します。

バッテリーパック温度が50° C (122° F) を超える場合、充電器はバッテリーパックを保護するため充電電流を低減します。これにより充電時間が長くなる可能性があります。バッテリーパック温度が55° C (131° F) を超えると、バッテリー管理システムは充電を停止します。

-----充電に関する注意事項-----

充電時は、電動バイクまたはバッテリーパックを安全な場所に置き、子供の手の届かない場所に保管してください

充電直後のバッテリーパック使用は避けてください。満充電後は使用前に充電器を必ず外してください。使用前に10分以上放置することを推奨します

充電中は充電器を覆わないでください。充電器は屋内専用です。乾燥した換気の良い環境で使用してください

充電完了後は、バッテリーパックの充電ポートカバーを必ず装着し、異物の混入を防止してください

-----警告-----

バッテリーパックは常に換気の良い環境で充電し、可燃物から離して保管してください。雨天時の充電は避けてください。

バッテリーパックは純正充電器でのみ充電してください。

非対応充電器やアクセサリの使用は、バッテリーパックの損傷・故障、人身事故、火災の原因となる可能性があります。

バッテリーパックは0° C (32° F) 以下では充電しないでください。さもないとバッテリーパックが損傷します。バッテリーパックの温度が

0° C (32° F) 以上に回復した後は、再度充電できます。バッテリーパックの最大許容充電温度は55° C (131° F) 未満です。バッテリーパック

の温度がこの値を超えた場合、55° C (131° F) 未満まで冷却された後にのみ充電できます。バッテリーパックは激しい走行後に急速に充電し、発熱します。

周囲温度が温度が低くても、バッテリーパック内部の温度が高い場合があります。

バッテリーをヒーターや直火の近くに置いて「加熱」したり、水や氷に浸す、冷凍庫に入れるなどの方法で「強制冷却」したりしないでください。バッテリー内外の温度差により、過度の機械的ストレスやその他の重大な事故を引き起こす可能性があります。高出力動作や高温動作直後には、バッテリーパックをすぐに充電できない場合があります。バッテリーパックは、30分以上冷却してから充電を開始してください。

-----警告-----

高出力使用後や高温環境下での使用後、バッテリーパックは直ちに充電できない場合があります。充電開始前に30分以上冷却してください。バッテリー管理ポリシーにより内部温度が高い状態での充電は禁止されており、遵守しない場合、バッテリー寿命が短縮されます

-----重大な警告-----

以下の状況を確認した場合は、直ちに充電を停止し電源を切断してください。モーターサイクルを使用せず、直ちにSurreonサービスまたは最寄りのSurreon正規販売店に連絡してください：バッテリーパックに目視で確認でき

る損傷がある場合充電中に異臭がします。バッテリーパックまたは充電器の温度がが過度に高い長時間経ってもバッテリーパックが完全に充電された兆候が見られない。バッテリーパックが発火した場合は、さらなる損傷を防ぐため水に投げ入れて冷却してください

ハイパービー電動バイク

ハイパービー電動バイクの動力システムは主に、バッテリー、モーター、およびコントローラーで構成されています。

-----注記-----

ユーザーによる無断でのモーター分解は厳禁です。これを行うと位置センサーの誤作動を引き起こす可能性があり、対応するシールを損傷してモーター故障の原因となる場合があります。無断でコントローラーおよびそのケーブルを分解することは厳禁です。

重大な感電や火傷を引き起こす恐れがあります。コントローラーは高電圧精密電子部品であり、ケーブルは高電流を流します。誤った配線接続やネジのトルク不足は、コントローラーや動力システムに損傷を与える可能性があります。

ハイパービー電動バイクの電源システムは、当社認定の訓練を受けた専門技術者による修理または交換が必要です。

サーロンユーザーはハイパービー電動バイクの電源システムを分解または改造することはできません。

動作中は電源ケーブルが高電流を流すため、ケーブル接続部のトルクが適切であることを確認してください。ケーブル絶縁体の損傷がないことを確認してください。動力システム部品およびケーブルの分解は厳禁です。動力システムは48Vで動作します。使用中、修理中、およびメンテナンス中は、その絶縁性能が損なわれないようにしてください。

整備点検項目

適切な交換用液体は表に記載されています		
部品	タイプ	容量
ブレーキフルード	DOT4	/
減速 ギアボックスオイル	10W-40 SN または上記	50ml

整備点検項目

ページに記載の定期点検表に従ってください。
102に記載の定期点検表に従ってください。各定期点検または整備実施後は、必要な情報をすべてマニュアルに記録してください。

整備点検項目

ハイパービー電動バイクは、安全かつ確実な運転を確保するため、定められたスケジュールに従ってメンテナンスを行う必要があります。必要なメンテナンススケジュールでは、電動バイクの点検整備の頻度と、注意が必要な項目が明記されています。作業に必要な技術や設備をお持ちでない場合、または支援が必要な場合は、お近くのサーロン正規販売店にご連絡の上、バイクのメンテナンスをご依頼ください。電動バイクの不適切なメンテナンスや修理によって損傷、故障、性能問題が生じた場合、保証は無効となります。

この定期点検表のサービス間隔は、未舗装路面での走行条件に基づいています。湿潤または粉塵の多い地域で頻繁に走行する場合は、一部の項目についてより頻繁なサービスが必要となります。

お客様の個別の使用に適用される推奨事項については、お近くのサーロン認定ディーラーにお問い合わせください。ハイパービーは、少なくとも6ヶ月以内にメンテナンスを受けることを推奨いたします。

-----注記-----

すべてのネジとボルトの締め付けトルクを、トラックやトレイル走行前に毎回確認することを推奨します。

定期メンテナンススケジュール

ハイパービー電動バイクを最適な作動状態に保つため、定期メンテナンスは本表に従って実施してください。初期メンテナンスは極めて重要であり、決して怠ってはなりません。時間と走行距離の両方が記載されている場合は、最初に表示される間隔に従ってください。

ハイパービー 定期メンテナンス表				
点検項目	毎回の走行後	500km/3ヶ月	2500kmごと/6か月ごと	5000kmごと/12か月ごと
タイヤ（摩耗）	●			
ブレーキパッド摩耗	●	●	●	✂
ブレーキディスク摩耗	●	●	●	
チェーン	●	●	●	✂
スプロケット（前輪&後輪）			●	✂
トランスミッション機構		✂	✂	
バッテリーパック容量	●			
ハイパービーリモート	●			
警告コード	●			
フロントフォーク&リアショック	●			オイル交換
ブレーキフルード	●	●		✂
ベアリング	●			
ライト	●			
ホイールスポーク	●	●		
スイングアーム保護ブロック				✂
スクリュートルク	●			

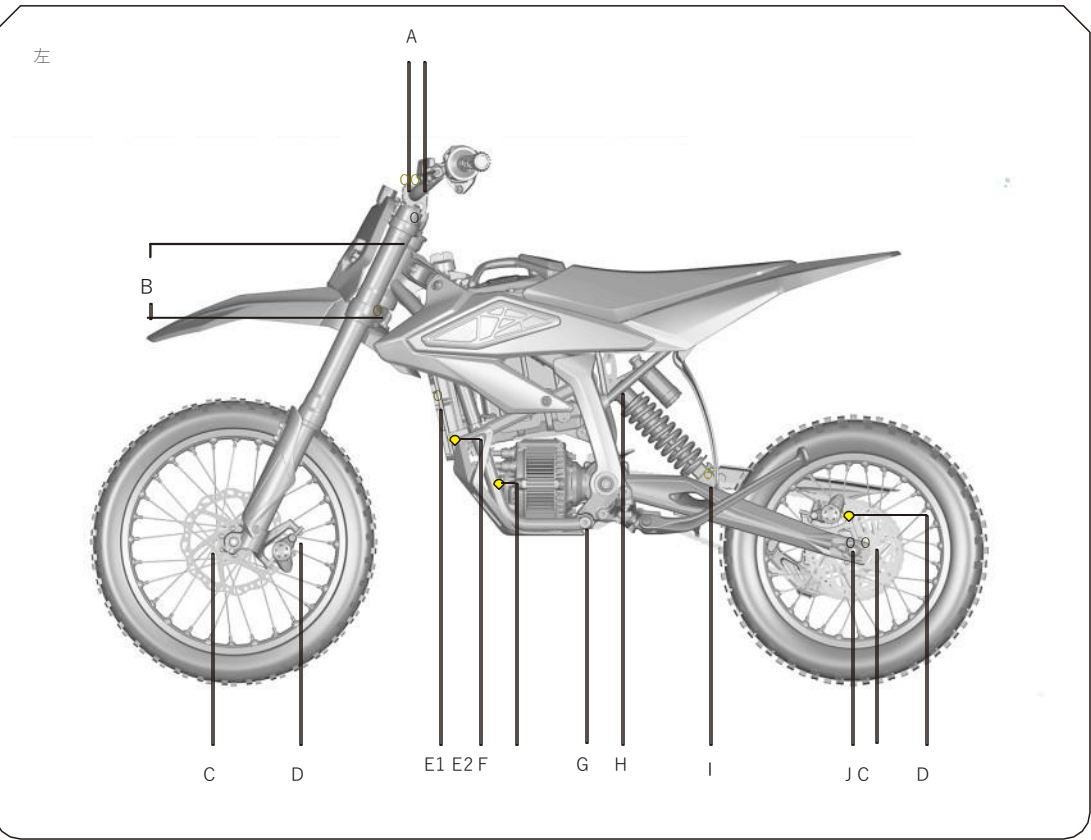
● 点検とメンテナンス

✂ 交換

トルク管理システム

ハイパービーの以下の締結部品を定期的に点検し、指定トルクで締め付けます。

- 注意-----
- ステアリングチューブナット調整方法：
1. 前輪が地面から離れるように、修理スタンドにバイクを設置してください
 2. 上部トリブルクランプのステアリングチューブロックボルトとフロントフォークロックボルトを緩める
 3. ステアリングチューブナットを20 N・mで締め付け、その後1/4回転緩める
 4. 上部トリブルクランプのステアリングチューブロックボルトとフロントフォークロックボルトを締め付ける
 5. ハンドルがスムーズに回転するか確認し、必要に応じて上記操作を繰り返す。

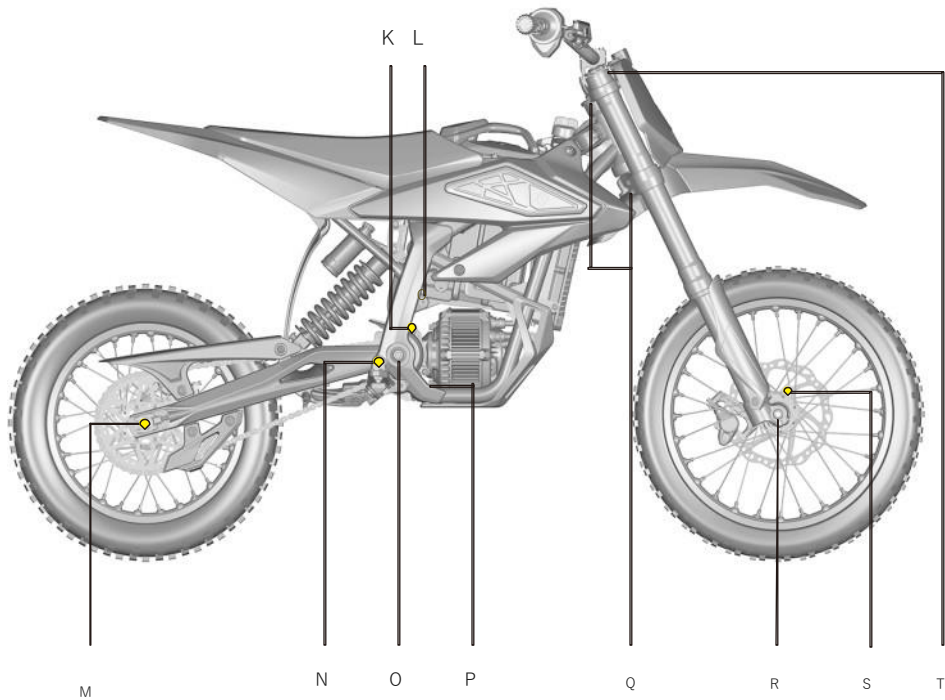


-FETCH LIGHT-

位置	項目	トルク	仕様	注記
A	ハンドルバークランプアーチおよびハンドルバーサポート取付ネジ	13N・m	トルクス六角穴付きネジ -M6*25	専用 ハンドルバー サポート
B	ステアリングチューブロックボルト	45-50N.m	六角ソケットパンヘッドキャップボルト - M16*17.5	
C	フロント&リアブレーキディスク取付ネジ	8-10N.m	六角穴付き皿頭ネジ-M5*10	✳
D	フロント&リアキャリパー取付ネジ	o-l 2N.m	六角穴付き -M6*20	✳
E1	コントローラー上部の取り付けボルト	10-12N.w	内側平頭ネジ - M6*12	✳
E2	コントローラーの下にボルトを取り付ける	10-12N.m	六角ソケットフランジネジ（内六角溝付き） - M6*12	✳
F	モーター減速ギアボックス前面取付ボルト	25-28N.m	六角フランジボルト--M8*20	
G	モーター減速ギアボックス後部取付ネジ	30-35N.m	六角穴付き - M8*56	
H	リアショックアブソーバー取付ネジ（上部）	30-35N.m	六角穴付き - M8*42	
I	リアショックアブソーバー取付ボルト（下部）	30-35N・m	六角穴付き - M8*50	
J	リアホイールアクスルロックナット	55-60N.	六角ナット IM12*1.25	

-FETCH LIGHT-

右



ロケーション	アイテム	トルク	仕様	注記
K	フロントスプロケット取付ボルト	10-12N.m	六角ボルト -M6*16	
L	バッテリーホルダーバー 取付ネジ	25-28N.m	六角穴付き - M8*25	
M	リアスプロケット 取付ネジ	10-12N.m	トルクス六角フランジネジ -M6*16	✳
N	フットペグ 取付ネジ	25-28N.m	六角穴付き -M8*20	✳
O	ミドルシャフトボルト	45-50N.m	トルクス皿頭ボルト -M10*1.5*30	✳
P	フレームサポートブラケット取付ネジ	25-28N.m	六角穴付 - M8*20	✳
Q	フロントフォーク 固定ネジ	8-10N.m	六角穴付き - M5*18	
R	フロントホイールアクスルロックボルト	トルク 20-30N.m	トルクス皿頭ボルト-M16*1.5*12	
S	フロントホイールアクスルロックネジ	8-10N.m	六角穴付き - M5*18	
T	ステアリングチューブ調整ナット	/	T字ボルト (雄ねじ) -M24*1*8	10.3ページを 参照してくだ さい。

注記：本マニュアルに記載されている "✳"は、Kraft K-0609（または同等の製品）を使用してください

バッテリーパックの充電

-----注意-----

バッテリーパックはメンテナンス不要のリチウムイオンシステムですが、定期的な充電が必要です。長期間使用しない場合は、保管前にバッテリーパックの充電状態 (Soc) レベルを約60%～80%まで充電してください。毎月、バッテリー残量 (Socレベル) を確認する必要があります。バッテリー残量が30%を下回った時点で充電を行い、バッテリーパックの過放電を防止してください。

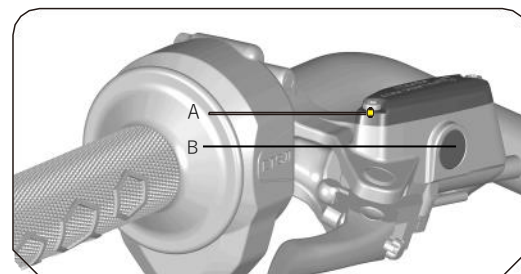
2. バッテリーパックは極端な低温・高温環境から遠ざけて保管してください。直射日光の当たる場所に保管しないでください。長期間使用しない場合は、10° C～30° C (50° F～86° F) の室温で保管してください。3. バッテリーパックの廃棄は、現地の法律に従って、現地で認可を受けた専門のリサイクル会社によってのみリサイクルされる必要があります。ご自身で廃棄しないでください。

ブレーキフルードの補充

このセクションでは、ハイパービーのブレーキシステムのメンテナンス方法について説明します。これには、ブレーキパッド (フロントおよびリアブレーキパッドはユニバーサル)、ブレーキフルードのタイプとレベルが含まれます。

ブレーキフルードリザーバー

ブレーキフルードリザーバー



ブレーキフルードレベルは点検窓Bから確認できます。点検窓Bの1/3より低い場合は、ブレーキフルードを補充してください。

ブレーキフルードリザーバーを開ける前に、ブレーキフルードの汚染を防ぐため、リザーバー蓋Aのほこりや汚れをすべて拭き取ってください。

液面が低い場合は、ブレーキパッドの摩耗または油圧システム。ブレーキパッドの摩耗状態と油圧システムの漏れを確認してください。

密封容器に入った新品のDOT4ブレーキフルードのみを使用してください。

ブレーキフルードの補充手順は以下の通りです：

1. ブレーキフルードリザーバーの蓋にある2本のネジを緩め、リザーバー蓋とガスケットを取り外します。
2. 新しいDOT4ブレーキフルードを補充します。
3. 蓋のシールを確認し、摩耗や損傷がないこと、および取り付け時に位置が正しいことを確認してください。
4. リザーバーキャップのネジを取り付け (トルク：2N・m)。

-----注意-----

塗装面にブレーキフルードを飛び散らせないでください。塗装を損傷する恐れがあります

プラスチック部品にブレーキフルードをこぼすと、腐食による損傷を引き起こす可能性があります

リザーバーキャップを外す前に、必ずリザーバーの下に油吸収タオルを敷いてください

-----警告-----

液面を確認する前に、ハイパービー電動バイクは平坦な場所で直立状態にし、ハンドレバーは中央位置に保つこと。これによりリザーバータンクが水平で適切な位置にあることを保証します。新しいブレーキフルードを補充する際、フルードが溢れた場合は直ちに拭き取り、他の部品の汚染を防ぐこと。

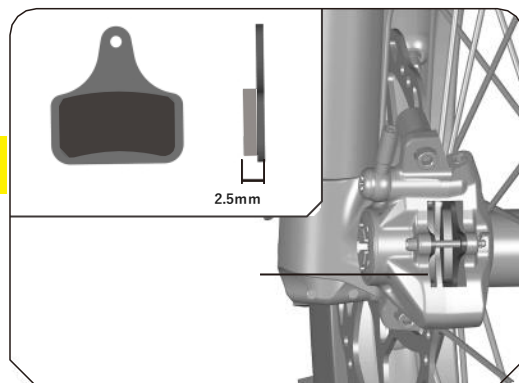
ブレーキディスク点検

ブレーキディスクの厚さは定期的に点検する必要があります。最小厚さは1.8mmです。ブレーキディスク点検

ブレーキパッドは定期点検表で指定された間隔で点検する必要があります。詳細は102ページを参照してください。ブレーキパッドの残量は

ブレーキパッド交換

フロントまたはリアのブレーキパッドの厚さが25mm未満の場合は、ブレーキパッドを交換してください。ブレーキパッドが損傷している場合は、損傷の程度にかかわらず、直ちに両方のブレーキパッドを交換してください。

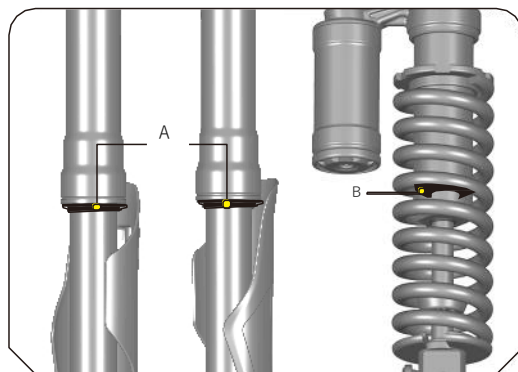


新しいフロントおよびリアブレーキパッドAまたはブレーキディスクを交換した後は、ブレーキディスクとブレーキパッドが正しく装着されるよう、点検および慣らし運転を行うことをお勧めします。適切な慣らし運転により、ブレーキの感度が向上し、ブレーキノイズが低減または解消されます。

-----警告-----

新しいブレーキシステムまたは新しいブレーキパッドを使用する場合、初期の制動力が弱くなる場合があります。ブレーキシシステムが正常な制動力を提供できるよう、低速でブレーキパッドとブレーキディスクの慣らし運転を行ってください

ショックアブソーバー



1. 走行後は直ちにショックアブソーバーの表面を清掃することを推奨します。特にメインチューブ表面に泥や砂が付着している場合は注意が必要です。高压洗浄機で清掃する際、防塵シールAおよびBに向かって上方向から洗浄することは厳禁です。これにより泥や砂がシール内部に流入し、シールの損傷や減衰油の漏洩を引き起こす恐れがあります。
2. 中性洗剤と柔らかい綿布のみを使用して清掃してください。腐食性溶剤は防塵オイルシールを損傷する可能性があります。
3. 潤滑剤を薄く塗布することを推奨します

-----警告-----

ショックアブソーバーには高压ガスまたは液体が入っています。ショックアブソーバーの改造や分解を試みないでください。ガスシリンダーへの衝撃、高温、火気の接近を避けてください。走行後はショックアブソーバーとガスシリンダーが高温になる場合があります。火傷の恐れがあるため、直接触れないでください。

-----警告-----

ショックアブソーバーの不適切な操作は、損傷、爆発、および重大な人身事故を引き起こす可能性があります。メンテナンスについては、10.2ページの定期メンテナンス表を参照してください。調整については、7.5ページおよび7.6ページを参照してください。

洗浄後のメインチューブ表面にグリースを塗布し、メインチューブ表面を完全に潤滑してください。

ホイールとタイヤ

ホイールとタイヤに以下の不具合がないか確認してください：

変形またはひび割れたリム；

リムへの衝撃痕；スポークの緩みまたは変形；

トレッド部またはサイドウォール部のカット、クラック、貫通、トレッドブロックの欠損；

タイヤの膨らみ；

タイヤトレッドの偏摩耗；

リムに対するタイヤビードの高さの不均一。

タイヤ空気圧

タイプ	前輪	リアホイール
オフロードタイヤ	225kPa	225kPa

上記の条件を満たさない場合は、直ちにホイールまたはタイヤを点検してください。

オフロード走行の場合は推奨タイヤ空気圧範囲は100～150 Kpa。

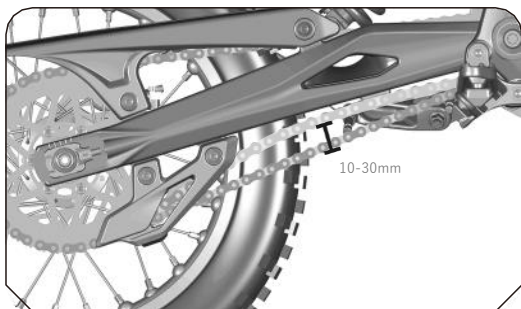
-----警告-----

タイヤ空気圧の不適切さは、タイヤ故障の一般的な原因です。長期間にわたる不適切なタイヤ空気圧は、タイヤの損傷、トレッドの剥離、さらにはオートバイの制御不能につながり、重大な**人身事故**を引き起こす可能性があります。

走行前には必ずタイヤ空気圧を確認し、適切な空気圧に調整してください。タイヤが冷えている状態で、正確な空気圧計を使用して空気圧を確認してください。

タイヤ空気圧が低すぎると、外側のタイヤの転がり抵抗が増加し、インナーチューブの位置がずれて破損する可能性があります。

チェーン



チェーンの点検・整備については、10.2 ページの定期整備表を参照してください。

1. チェーンとスプロケットを清潔に保ってください。
2. チェーンの摩耗、張力、潤滑状態を確認してください。

(1) キースイッチからキーを取り外し、メイン電源スイッチを切った後、リフトスタンドでオートバイの車体を支え、後輪を浮かせます。チェーンを上下に動かし、たるみが推奨範囲（10～25mm）内にあるかどうかを確認します。

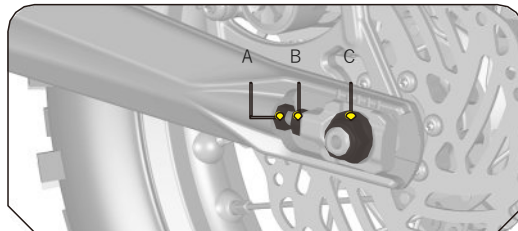
(2) 調整時は、まず後輪軸ナットを緩め、その後左右の調整ボルトを操作し、チェーンのたるみを推奨範囲内に調整します。

3. 調整後、左右のチェーンアジャスターのマークは、左右対称になるように調整してください。

(3)適切なチェーンオイルまたはチェーンワックスをチェーンに塗布してください。

-----注意-----

チェーンのバックラッシュが推奨範囲を超えると、**スイングアーム**保護ゴムの摩耗を悪化させます。バイクに乗る前に、値を15～30mmに調整してください



チェーン調整手順

1. キースイッチからキーを取り外し、メイン電源スイッチを切った後、リフトスタンドで車体を支え、後輪が浮いた状態にします。
2. 後輪車軸ナットAを緩めます。
3. 左右の調整ボルトCのロックナットBを緩めます。
4. チェーンが規定範囲内に調整されるまで、左右の調整ボルトBを均等に調整します。
5. 後輪軸ナットAを締め付けます。
6. 左右のロックナットCを締め付けて調整ボルトBの**位置**を固定する

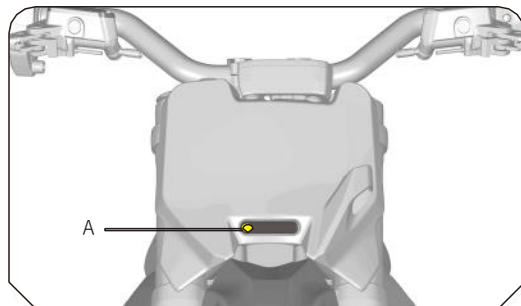
-----注意-----

チェーンの張りを調整する際は、両側の調整ボルトを均等に調整してください

7.試乗してください。

8. 試乗後、チェーンが正しく調整されているか再度確認し、必要に応じて再調整してください。

ヘッドライトの交換



ヘッドライト A が損傷した場合は、正規の Surron 販売店に連絡して交換を行ってください。

ボディの洗浄

1. スポンジまたは清潔な柔らかい布、中性洗剤、水を使用して、オートバイを優しく清掃してください。
2. 傷がつきやすいため、ダッシュボードの清掃には細心の注意を払ってください。

3. 洗浄後は、洗剤の残留物を完全に除去するため、バイクを水で十分にすすいでください。
4. 柔らかい乾いたタオルでバイクを乾かしてください。
5. 清掃後は、バイクに異常がないか注意深く点検してください。

洗浄後は、チェーンやその他のすべての潤滑が必要な部品のメンテナンスを行ってください。

-----注意-----

不適切な洗浄はバイク部品を損傷する恐れがあります。ベアリング、シール、電気部品、プラグへの高圧洗浄機（高圧水銃）の使用は避けてください。ハイパービー電動バイクの寿命を延ばすため、定期的な洗浄・メンテナンスを行い、洗浄後は速やかに拭き取り乾燥させることを推奨します。

プラスチック部品には、いかなる強力な化学製品も使用しないでください。強力な腐食性洗剤、溶剤、シンナー、燃料（ガソリン）、錆取り剤または抑制剤、ブレーキフルード、不凍液など。

-----警告-----

車両の電気・システムへの損傷を防ぐため洗浄作業中はダストキャップが適切に配置されていることを確認し、磁気コネクタが空気や水にさらされるのを防いでください。

-----警告-----

清掃後、走行を開始する前に、ブレーキシステムが正常に作動することを確認してください

電気部品は完全に乾いてから操作してください。

ハイパービーを洗車後すぐ走行させる場合、低速でブレーキを安全に数回作動させて、ブレーキパッドの水分を取り除いてください。

ホイールとタイヤの清掃

強力な酸性ホイールクリーナーの使用は避けてください。頑固な汚れを落とすためにこの種の製品を使用する場合は、損傷を防ぐため、すぐにすすぎ洗いし、直ちに乾燥させてください。

-----注意-----

タイヤは洗浄のみが必要です。タイヤメンテナンス製品は、タイヤと地面の摩擦を減少させ、タイヤの早期劣化を招く可能性があります。

長期保管

長期間（30日以上）使用しないオートバイについては、バッテリーの充電レベルを約60%から80%に維持し、ハイパービーのメイン電源スイッチをオフにすることを推奨します。

バッテリーパックは保管中も徐々に放電します。少なくとも月に1回はバッテリーパックの残量を確認してください。バッテリーの寿命を維持するために、バッテリーのSocレベルが30%を下回った場合は、60%から80%まで再充電する必要があります。ハイパービーを再度使用する際は、バッテリーパックを完全に充電し、最適な状態に回復させてください。

-----注意-----

バッテリー残量が30%未満の状態 でハイパービー電動バイクを保管しない てください。

バッテリーパックを30%未満で長時間放電すると、バッテリー寿命が短縮されます。また、低バッテリーレベルによりバッテリーパックが損傷する可能性があります。過放電または長期にわたる極端なバッテリーパックの損傷は、保証の対象外となります。

-----警告-----

バッテリーパックのメンテナンスサービスは、認定された専門技術者のみが実施できます。バッテリーパックの内部部品を無断で扱うことは非常に危険ですのでご注意ください。バッテリーパックを分解しないでください。

バッテリー寿命を維持するために、ハイパービーは、涼しく風通しの良い場所に保管してください。

高温多湿な場所での保管はハイパービーのバッテリーパックと電気システムの寿命を短めます。バッテリーと電気システムの詳細については、8.1 ページを参照してください。

ハイパービー純正部品

ハイパービーには、サーロンが指定する純正部品の使用をご使用ください。純正スペアパーツは、ハイパービーのメンテナンスに、正規サーロン販売店からのみ入手可能です。

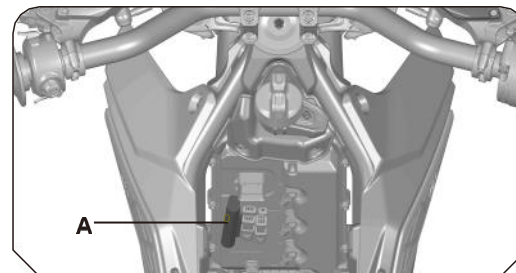
ヒューズ

本車両の電気系統には過電流保護装置が装備されています。ヒューズは1回限りの保護装置であり、過負荷時には回路を保護するために切断します。ヒューズ交換時は同規格のものを使用してください。

-----注意-----

ヒューズが繰り返し飛び場合は、サーロン正規販売店にお問い合わせください

減速ギアボックス



ヒューズボックスAはバッテリーフロントプレートとコントローラーの間に位置します。確認するにはバッテリーフロントプレートを外す必要があります。

ヒューズボックスには保護キャップが付いており、必ずキャップを押し込み、押したままラッチをしっかりと押し下げ、キャップを開けてください。

-----注意-----

ヒューズボックスには予備ヒューズが入っています

ヒューズの交換：

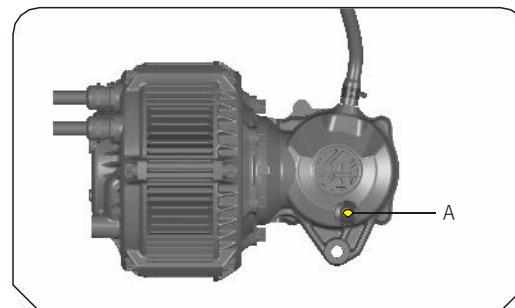
1. ヒューズボックスのキャップをつまみ、ヒューズボックスの右側にあるキャップを開けます。

2. 故障したヒューズを同仕様のモデルと交換してください。

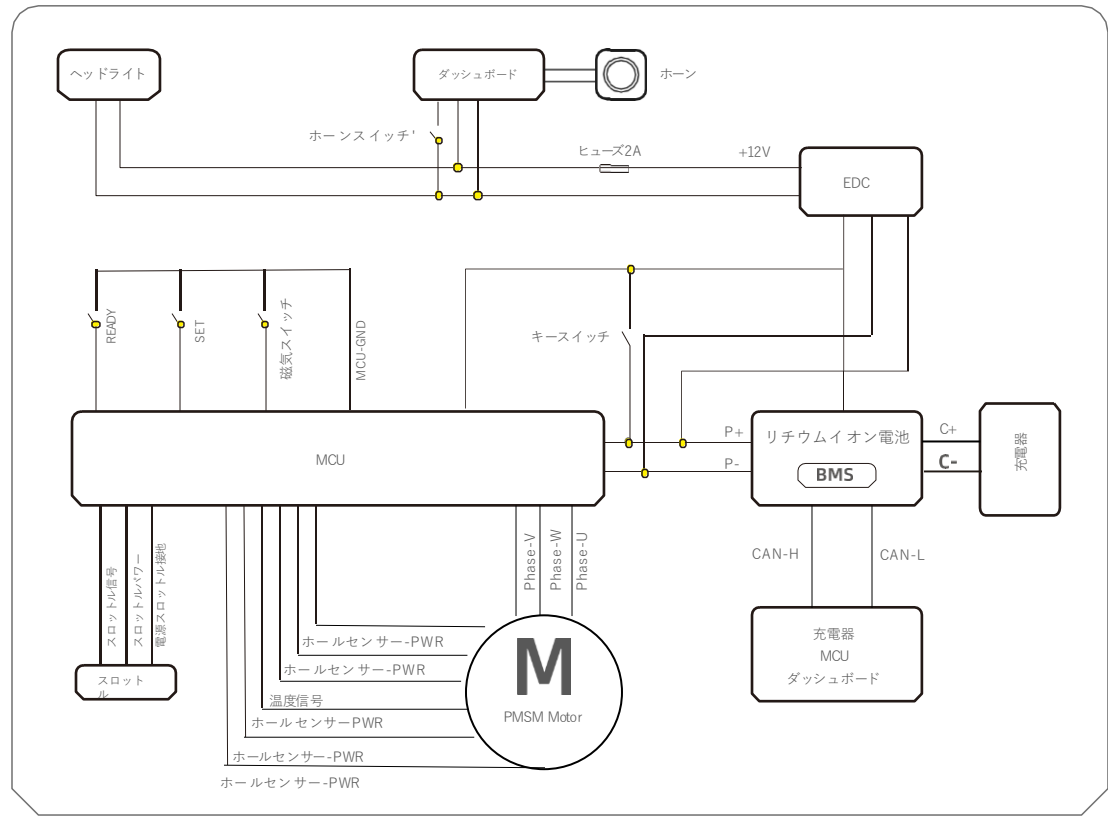
減速ギアボックス

減速ギアボックスオイル交換

1. モーター減速ギアボックスが冷えている状態で、ハイパービー電動バイクをリフトスタンドに載せ、キースイッチがOFFになっていることを確認してください。ドレンボルトAを外し、ギアボックスオイルが断続的に滴り落ちるまでドレンポートからオイルを排出します。



配線図





ハイパービーは、正規サロンの販売店により納車前に厳重に点検されます。ただし、厳重な点検を経ているにもかかわらず、技術的な問題が発生する可能性があります。以下の情報は、ご自身で必要なスキルをお持ちと判断された場合に、問題の特定と基本的なメンテナンスを行うためのガイドラインを提供します。ご自身で問題を解決できない場合は、正規サロンの販売店までお問い合わせください。

安全インターロック

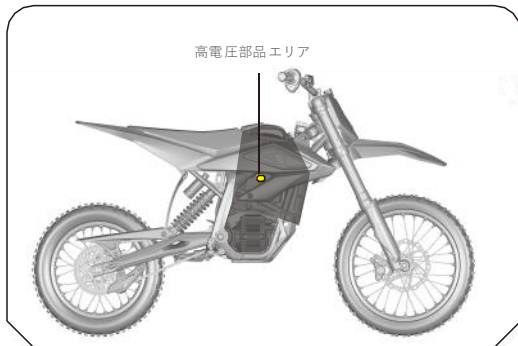
バッテリーパックがハイパービー電動バイクに接続されている際、バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、バッテリーパックの損傷を防ぐため、以下の2つの対策のうち1つまたは両方が実施されます：

1. 走行禁止。バッテリー残量が0の場合、またはバッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまでモーターサイクルの使用が制限されます。

2. 充電禁止。バッテリー管理システムが重大な内部故障を検知した場合、問題が解決されるまで充電を禁止します。

ハイパービー電動バイクの注意事項

ハイパービー電動バイクには複数の高電圧部品が搭載されています。ご使用の際は適切な予防措置を講じてください。高電圧部品は危険であり、感電、火傷、さらには重篤な人身事故を引き起こす可能性があります。



安全のため、常にバイク部品に貼付されているラベルの指示に従い、高電圧部品、ケーブル（オレンジ色の外装チューブで識別）に触れたり、取り外しや交換を試みたりしないでください。

-----警告-----

清掃作業中は、ダストキャップが確実に装着されていることを確認し、磁気コネクタが空気や水にさらされないようにしてください。

車両の電気系統および動力系統の損傷を防ぐためです。

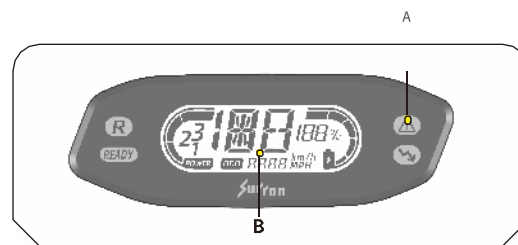
-----警告-----

清掃後、走行を開始する前に、ブレーキシステムが正常に機能していることを確認してください。



故障が検出されると、ダッシュボード上部の故障インジケータAが点灯し、対応する警告コードがダッシュボードLCD画面のB領域に表示されます。

考えられる原因と解決策については、次のページ以降の表を参照してください。



事故発生時には、高電圧端子やモーターサイクルに接続された部品には絶対に触れないでください。まず自身の安全を確保し、その後クラスD対応消火器で消火してください。炎が消えた後は、大量の水または水系消火器で冷却してください。

故障現象別トラブルシューティング

原因と解決策については、次ページ以降の表を参照してください。

-----注意-----

車両に問題が発生した場合、ダッシュボードの警告インジケーターが点灯したままになります。また、車両速度が0の場合、LCD画面に対応するエラーコードが表示されます

警告コード	説明	解決策
ER-00	ダッシュボードのデータ通信障害	ダッシュボードの配線接続を確認
ER-03	過放電保護（レベル2）	サローン正規販売店にお問い合わせください
ER-04	REGEN過電流保護（レベル2）	REGEN設定値の引き下げ
ER-08	バッテリー放電MOS過熱保護（レベル2）	使用を中止し、はサローン正規販売店にお問い合わせください
ER-10	バッテリー充電MOS過熱保護（レベル2）	充電を停止し、サローン正規販売店にお問い合わせください
ER-11	起動時自己診断過熱保護（レベル1）	キースイッチをOFFにし、再度ONに戻す

ER-13	バッテリーセル温度不均衡保護（レベル2）	使用を中止し、製造元またはサローン正規販売店にお問い合わせください
ER-17	バッテリーセル電圧不均衡保護（レベル2）	サローン正規販売店にお問い合わせください
ER-19	バッテリーセル低電圧保護（レベル3）	バッテリーパックの充電
ER-22	放電過電流保護（レベル3）	使用を中止し、サローン正規販売店にお問い合わせください
ER-24	バッテリーセル放電低温保護（レベル3）	使用を中止し、 温度が作動状態に戻るまでお待ちください
ER-25	バッテリーセルの放電温度が 温度保護作動 （レベル3）	使用を中止し、 温度が作動状態に戻るまでお待ちください
ER-30	BMS保護基板1エラー	サローン正規販売店にお問い合わせください。
ER-31	BMS保護基板2エラー	サローン正規販売店にお問い合わせください。
ER-35	充電器の故障	サローン正規販売店にお問い合わせください。
ER-37	バッテリー電流センサーエラー	サローン正規販売店にお問い合わせください

ER-40	バッテリー温度センサーエラー	サーロン正規販売店にお問い合わせください。
ER-41	起動時自己診断温度センサーエラー	サーロン正規販売店にお問い合わせください。
ER-43	バッテリー放電MOSエラー	サーロン正規販売店にお問い合わせください
ER-44	バッテリー充電MOSエラー	サーロン正規販売店にお問い合わせください。
ER-45	バッテリー放電MOS過熱保護	使用を中止し、バッテリー温度が動作状態に戻るまでお待ちください サーロン正規販売店にお問い合わせください
ER-50	バッテリー放電コネクタ過熱警告	使用を中止し、放電コネクターの温度が 動作状態に戻るまで待ち 、コネクターの接触面を点検してください
ER-51	バッテリー放電コネクタ過熱保護（バッテリー保護動作）	モーターサイクルの使用を中止し、放電コネクタの温度が 動作状態に戻るまで お待ちください。
ER-52	バッテリー放電コネクタ温度センサーエラー	使用を中止し、放電コネクタの温度が動作状態に戻るまで待機してください コネクタの接触部を点検してください
ER-100	MCU MOS エラー	サーロン正規販売店にお問い合わせください。
ER-101	MCU過電流保護	バイクが低電力モードに入る

ER-104	モーター位置センサーエラー	サーロン正規販売店にお問い合わせください。
ER-105	モーターロックドローターエラー	モーターがロックドローター状態にあるかどうかを確認する
ER-106	MCU電流センサーエラー	サーロン正規販売店にお問い合わせください
ER-107	MCU過熱保護	バイクの使用を中止し、MCUの温度が動作状態に戻るまでお待ちください
ER-108	モーター過熱保護	使用を中止し、モーター温度が動作状態 に戻る までお待ちください
ER-109	メイン電源ケーブルの瞬時低電圧保護	MCUメイン電源ケーブルを確認してください
ER-110	メイン電源ケーブル低電圧保護（レベル3）	バッテリーパックの充電
ER-111	主電源ケーブル高電圧保護	REGEN機能無効化
ER-113	バッテリーセル過熱/低温保護（レベル3）	使用を中止し、温度が動作状態に戻るまで待機
ER-114	スロットル信号保護	スロットルケーブルの短絡またはアイドル位置への復帰不能を確認してください

ER-115	スロットル接地保護	スロットルケーブルの短絡、ケーブル損傷または断線を点検
AL-116	ハイパービーリーモート緊急電源遮断保護	ハイパービーリーモートボタンの状態を確認するか、キースイッチをオフにして再度オンにする
AL-117	磁気スイッチ保護	磁気スイッチと磁気スイッチ回路を確認してください
AL-118	ティルトスイッチ保護	バイクを再準備するか、設定モードで傾斜スイッチ機能をオフにしてください
AL-119	メイン電源ケーブル低電力保護	自転車の通信ケーブルを確認し、バッテリーパックを充電する
AL-120	バッテリーSoc低下または高温による電力制限（レベル2）	バイクの使用を中止し、バッテリー温度が作動状態に戻るまで待機バッテリーパックを充電してください
AL-121	バッテリーセル放電低または高温電力制限（レベル2）	使用を中止し、バッテリー温度が作動状態に戻るまでお待ちください
AL-122	メイン電源ケーブルの低電圧による電力制限（レベル1）	バッテリーパックを充電してください
AL-123	バッテリーSocが低い、または高温による電力制限（レベル1）	オートバイの使用を中止し、バッテリー温度が作動状態に戻るまで待機バッテリーパックを充電する
AL-124	バッテリーセル放電低または高温時の電力制限（レベル1）	使用を中止し、バッテリー温度が作動状態に戻るまで待機してください

AL-125	MCU過熱による電力制限（レベル1）	使用を中止し、MCU温度が動作状態に戻るまでお待ちください
AL-126	モーター過熱による電力制限（レベル1）	使用を中止し、モーター温度が作動状態に戻るまで待機してください
ER-127	モーター温度センサーエラー	サーロン正規販売店に連絡してください
AL-128	REGENが無効化されました	バッテリーの温度と電圧を確認してください
ER-129	CAN通信エラー	すべての配線とケーブルを確認してください
ER-130	速度センサーエラー	フロントおよびリアのホイールスピードセンサーが正しく接続されているか確認してください
ER 131	メイン電源ケーブル瞬時高電圧保護	REGEN機能は無効化
ER-133	キースイッチ電源緩み保護	キースイッチとMCUケーブルの接続を確認
ER-134	MCUファームウェア誤動作保護	キースイッチをOFFにしてから再度ONにする
ER-135	電池セルの高電圧差保護	製造元または認定サーロン販売店に連絡

ER-136	MOS放電温度過昇によるMCU保護	バイクの使用を中止し、温度が作動状態に戻るまで待機してください
ER-137	バッテリーセル低電圧保護	バッテリーセル低電圧保護
ER-138	MCU 再生保護	キースイッチをOFFにし、再びONに戻す
ER-144	BMS放電過電流電力制限	低電力モード（レベル1）
ER-145	バッテリーセル高電圧差電力制限	低電力モード（レベル2）
ER-146	MOS放電温度高時の電力制限	バイクの使用を中止し、温度が作動状態に戻るまで待機してください
AL-147	バッテリーセル低電圧による電力制限	バッテリーパックを充電し、サーロン正規販売店に連絡してください
AL-148	バッテリーSoc低電力制限	バッテリーパックを充電し、製造元または認定サーロン販売店に連絡してください
AL-149	MCU 過熱電力制限（レベル2）	オートバイの使用を中止し、MCUの温度が 作動状態 に戻るまでお待ちください
AL-150	モーター過熱電力制限（レベル2）	使用を中止し、モーター温度が作動状態に戻るまで待機してください

ER-151	バッテリー放電コネクタ過温度電力制限	オートバイの使用を中止し、放電コネクタの温度が作動状態に戻るまで待機してください。コネクタの接触面を確認してください
ER-152	バッテリー放電コネクタの過熱保護	車両の使用を中止し、放電コネクタの温度が作動状態に戻るまで待機してください。コネクタの接触部分を点検してください。

車両に問題が発生した場合、ダッシュボードの警告インジケーターが点灯したままになります。

車両速度が0になると、LCD画面に対応するエラーコードが表示されます。

11.11

故障	考えられる原因	トラブルシューティング
電源が入らない	バッテリーが正しい位置に接続されていません	バッテリーのプラグを確認してください
	バッテリーのSocが低すぎる	バッテリーを充電中
	バッテリーが温度保護状態に入る	温度が動作可能状態に戻るまでお待ちください
	メインハーネスのヒューズが溶断	すべての配線とケーブルを確認し、ヒューズを交換してください
	キースイッチが正しく作動していない	キースイッチを再点検するか、新しいキースイッチと交換してください
	DCコンバータエラー	DCコンバーターを交換
	バッテリーの故障	サーロン正規販売店に連絡
	傾斜センサーが作動したがリセットされていない	キースイッチをオフにし、バイクを持ち上げた後に再度オンにする
電源が入っているがバイクが動かない	エンジン始動時にスロットルがアイドル位置にない	スロットル位置を確認

11.12

バイクの電源は入っているが、動いていない	バッテリー残量低下保護	バッテリー充電中
	モーター温度保護	温度が動作可能状態に戻るまで待機
	MCU温度保護	温度が動作状態に戻るまで待機 動作状態に戻るまで待機
	スロットルエラー	スロットルを交換
	MCUが所定の位置に差し込まれていない	MCUプラグ接続を確認
	モーターエンコーダが所定の位置に接続されていません	モーターエンコーダのプラグ接続を確認してください
	MCUまたはモーターエンコーダーエラー	サーロン正規販売店に連絡し、NICUの修理または交換を依頼してください
	クローンメーターが正しく接続されていません	サーロン正規販売店に連絡し、モーターの修理または交換を依頼してください
バイクの電源が入っているがバッテリーのSocが表示されない	クローンメーターエラー	サーロン正規販売店に連絡し、バッテリーの修理または交換を依頼してください
充電器が動作しない	バッテリーが温度保護状態に入る	サーロン正規販売店に連絡し、バッテリーの修理または交換を依頼してください

充電器が作動しない	充電器が正しく接続されていない	電源とプラグを再度確認してください
	充電器の故障	充電器を交換してください
	バッテリーの不具合	サーロン正規販売店にお問い合わせください
走行モード 故障 および出力低下	バッテリー残量低下	バッテリーを充電してください
	バッテリー温度保護	温度が動作条件に戻るまで待機
	MCU またはモーター温度保護	温度が作動状態に戻るまで待機
	走行モードスイッチエラー	ライディングモードスイッチを交換する

注：上記の**情報**は随時更新いたします。最新バージョンは当社ウェブサイトでご確認ください。

バイクの点検・整備後、必ず適切な整備記録が記入されていることを確認してください。「備考」欄には、次回点検時に確認したい事項や自身への注意点を記録してください。

500KM/ファーストライド

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

13.1

2500KM

走行距離		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

13.2

5000KM/12ヶ月

走行距離 計の表示		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

13.3

7500KM

走行 距離		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

13.4

10000KM

走行距離計の読み取り値		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

13.5

12500KM

走行 距離		実施者		日付	
Maintenance Record Sheet					
Remark					

13.6

アフターサービス サービス 記録シート					
	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
1					
2					
3					
4					
5					

アフターサービス サービス 記録 シート					
	走行距離計の読み取り値	保証項目	実施者	日付	備考
6					
7					
8					
9					
10					

技術仕様		
仕様	QL2000DY-2	
車両モデル	ハイパービー14-12	ハイパービー12-10
寸法	1500x680x885mm	1460x680x860mm
最低地上高	240-260mm	215-235mm
シート高	685mm	635mm
乾燥重量/車両重量	39kg	38kg
積載量	65kg	65kg
フロントタイヤ	フロントオフロードタイヤ-60/100-14	フロントオフロードタイヤ-60/100-12
リアタイヤ	リアオフロードタイヤ-70/100-12	リアオフロードタイヤ-70/100-10
アシスタント機能	REGEN+ 緊急電源オフ（磁気式）	
ホイールベース	1035mm	
フロントフォークストローク	170mm	
リアホイールストローク	170mm	
電力システム	ミッドドライブPMSMモーター＋FOC正弦波MCU	
定格出力	2KW	
最大出力	5KW	
最大トルク	15.9N・m	14.3N・m
最高速度	55 km/h	
航続距離	50km（@40km/h）	
バッテリータイプ	48V/25Ah リチウムイオンバッテリーパック	
走行モード	走行モードレベル 1/2/3リバースモード	
充電時間	4.5時間	
フレーム設計	アルミ鍛造フレーム	



